

県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M-00	図面目録	—	M-16	電気設備 1階平面図(改修後)	S=1/150
M-01	機械設備工事 特記仕様書(1)	—	M-17	電気設備 2、3階平面図(改修後)	S=1/150
M-02	機械設備工事 特記仕様書(2)	—	M-18	教室棟断面図(参考)、各所改修図(参考)	S=1/50
M-03	配置図、付近見取図	S=1/1000	M-19	冷暖房設備 機器表(改修前)	—
M-04	冷暖房・自動制御・ガス設備 凡例、特記	—	M-20	冷暖房設備 系統図(改修前)	—
M-05	冷暖房設備 機器表(改修後)	—	M-21	冷暖房設備 1階平面図(改修前)	S=1/150
M-06	冷暖房設備 系統図(改修後)	—	M-22	冷暖房設備 2階平面図(改修前)	S=1/150
M-07	冷暖房設備 1階平面図(改修後)	S=1/150	M-23	冷暖房設備 3階平面図(改修前)	S=1/150
M-08	冷暖房設備 2階平面図(改修後)	S=1/150	M-24	自動制御設備 系統図(改修前)	—
M-09	冷暖房設備 3階平面図(改修後)	S=1/150	M-25	自動制御設備 1階平面図(改修前)	S=1/150
M-10	自動制御設備 系統図(改修後)	—	M-26	自動制御設備 2階平面図(改修前)	S=1/150
M-11	自動制御設備 1階平面図(改修後)	S=1/150	M-27	自動制御設備 3階平面図(改修前)	S=1/150
M-12	自動制御設備 2階平面図(改修後)	S=1/150	M-28	ガス設備 1階平面図(改修前)	S=1/200
M-13	自動制御設備 3階平面図(改修後)	S=1/150	M-29	電気設備 1階平面図(改修前)	S=1/150
M-14	ガス設備 1階平面図(改修後)	S=1/200	M-30	電気設備 2、3階平面図(改修前)	S=1/150
M-15	ガス設備 LPG供給設備詳細図(改修参考)	S=1/20	M-31	仮設計画図(案)	S=1/400

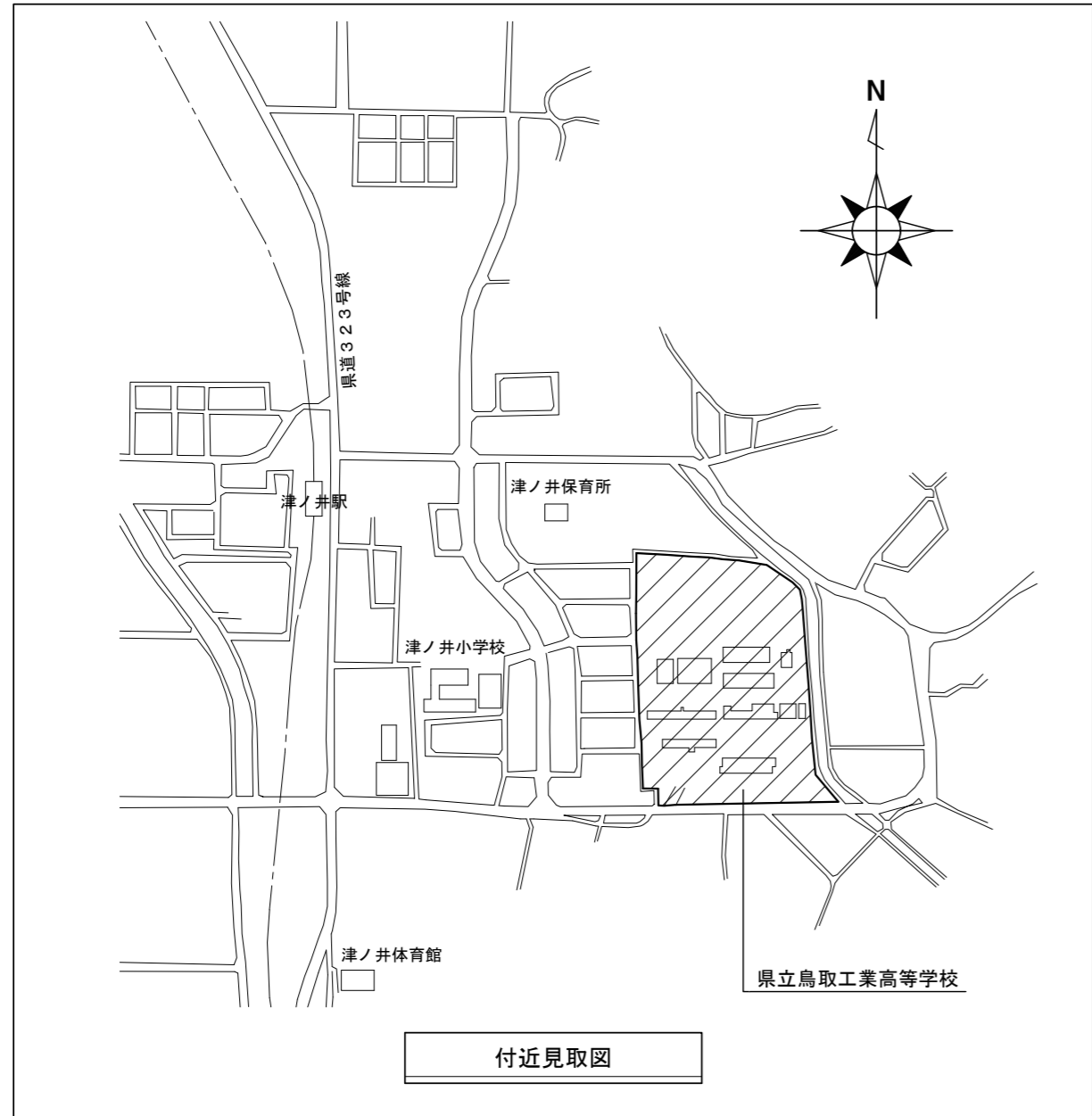
鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部営繕課

<p>一般共通事項</p> <p>21 鋼管類の防食処置</p> <p>22 絶縁継手</p> <p>23 防振継手</p> <p>24 伸縮管継手</p> <p>25 塗装</p> <p>26 ステンレス鋼管の接合方法</p> <p>27 溶接配管の検査</p> <p>28 埋設表示</p> <p>29 支持金物・固定金具</p> <p>30 総合試運転調整</p> <p>31 アスベスト含有建材の処理</p> <p>32 補修など</p> <p>33 はつり工事における非破壊検査</p> <p>34 はつり工事中の非破壊検査</p> <p>35 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>36 火災保険等</p> <p>37 グリーン購入</p> <p>38 鳥取県公共工事環境配慮指針</p> <p>39 建築物省エネ法</p> <p>40 耐震施工</p>	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ベトロラム系 ● プレコンクリート系 ● 熱収縮チューブ及びシート <ul style="list-style-type: none"> ● 標準図(施工3) ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン <p>※ 合成ゴム製(球形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製) <p>※ ベローズ形</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スリーブ形 <p>各種機械のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠べいされる部分 (エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等をしたもので、常時隠べいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 <p>呼び径60mm以下の継手は、SAS322を満足するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管 <p>非破壊検査の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 <p>採取率</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 標準仕様書による ● % <p>● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ●)</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质 ● 一般飲料水適否検査 ● その他水质等 ● 雑用水 ● 空調用流体 <p>公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td>外壁塗装</td> <td>仕上げ塗材、下地塗材</td> <td>外壁</td> </tr> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 公害署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。(2検体)</p> <p>分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アスベスト粉じん濃度測定を行う <p>(測定時期: 測定場所: 測定点:)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等をつける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 <p>対象箇所</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にない補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>探査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空調用機器(●ガスヒートポンプエアコン) ● 衛生器具 ● 断熱材 ● 配管材(●再生硬質ポリ塩化ビニル管) ● その他 <p>対象工事</p> <p>対象工事</p> <p>設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。</p> <p>(1) 機器の据付け及び取付け</p> <p>設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。</p> <table border="1"> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>●重要機器</th> <th>●一般機器</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">上層階 屋上、塔屋</td> <td>機器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中間階</td> <td>機器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地階・1階</td> <td>機器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> </table> <p>上層階の定義 2～6階建:最上階、7～9階建:上層2階、10～12階建:上層3階、13階建以上:上層4階</p> <p>中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの</p> <p>重要機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置 ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む) <p>(2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p> <p>(3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センターを参考にする。</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲	外壁塗装	仕上げ塗材、下地塗材	外壁	設置場所	機器種別	●重要機器	●一般機器	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5	防振設置機器	2.0	2.0	水槽類	2.0	1.5	中間階	機器	1.5	1.0	防振設置機器	1.5	1.5	水槽類	1.5	1.0	地階・1階	機器	1.0	0.6	防振設置機器	1.0	1.0	水槽類	1.5	1.0	<p>1 空調調和設備</p> <p>2 冷却水管</p> <p>3 冷水・温水・冷温水管</p> <p>4 膨張・空気抜・補給水管</p> <p>5 蒸気給気管</p> <p>6 蒸気還水管</p> <p>7 油・油用通気管</p> <p>8 冷媒管</p> <p>9 空調用給水管</p> <p>10 空調用排水管</p> <p>11 弁類</p> <p>12 ファンコイルユニット</p> <p>13 ダンパー</p> <p>14 ダクト</p> <p>15 吸出口・吸込口</p> <p>16 チャンパー等</p> <p>17 消音内貼り</p> <p>18 瞬間流量計及び流量測定口</p> <p>19 定風量・変風量ユニット</p> <p>20 温度計</p> <p>21 冷温水管の空気抜き</p> <p>22 空調機用トラップ</p> <p>23 鋼板製煙道</p> <p>24 オイルサービスタンク</p> <p>25 地下オイルタンク</p> <p>26 油面制御装置</p> <p>27 フィルター等付属品</p> <p>28 パッケージ空調機的能力表示</p> <p>29 防振吊り及び支持金物</p> <p>4 排煙設備</p> <p>5 自動制御設備</p>	<p>① 設計用温度湿度条件</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気条件</th> <th colspan="4">室内(調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>36.0℃</td> <td>49.1%</td> <td>28.0℃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>▲0.6℃</td> <td>80.8%</td> <td>19.0℃</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ SGP(白) ● SGP-VA ● SGP-PA</p> <p>※ SGP(白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管(SUS304)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 架橋ポリエチレン管(ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管(ファンコイル機器接続部に限る) ● SGP(白) ● ステンレス鋼管(SUS304) <p>※ SGP(黒)</p> <p>※ STPG370-Sch40(黒) ● ステンレス鋼管(SUS304)</p> <p>一般配管 ※ SGP(黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ● ● SGP(白) ● VP ● カラーVP ● ● 5K ● 10K <p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(●ダイアフラム式流量可変式 ●カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式(動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト ● 長方形ダクト ● コーナボルト工法(● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法) ● アンガルフランジ工法 <ul style="list-style-type: none"> ● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。 <p>ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図(施工49)を参考とする。</p> <p>接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吸出口には、(長さ+100)×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。</p> <p>吸出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吸出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口(原則400×600)を取付ける。</p> <p>形式はピトー管式(コック付)とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p> <p>下記の箇所、若しくは図示により取付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● 冷水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● ユニット形空調機の冷水水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング ● メカニカル形 ● 風速センサー形 <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動 <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工38(g))</p> <p>機械室の自動空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保型型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● SS400(※3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※1.5mm ● 2.0mm)</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口(80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>油面計はゲージ式(側圧計)とする。</p> <p>据付け方法 ● 標準図(施工32)(二重殻タンク・タンク室無し) ● 標準図(施工33)(タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要(※別途工事 ● 本工事)</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器表特記による。 ● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。 <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p> <p>※ 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製(厚1.6mm)</p> <p>形状 ● パネル形 ● スリット形 ● ダンパー形</p> <p>取付け ● 天井取付 ● 壁取付</p> <p>電気式(遠隔操作 ※ 不要 ● 要)</p> <p>建築設備定期検査業務基準書2016年版(一財)日本建築設備・昇降機センター)の検査方法に準ずる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有り(構成機能は、図示による) ● 無し ● 要(●本工事 ● 別途工事) ● 不要 取付高さ ※ 1300mm ● mm ● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。 <p>● 天井隠べいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</p>		外気条件		室内(調整目標値)				温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏季	36.0℃	49.1%	28.0℃				冬季	▲0.6℃	80.8%	19.0℃				<p>6 衛生器具設備</p> <p>1 衛生器具の参考型番</p> <p>2 小便器用節水装置</p> <p>3 自動水栓</p> <p>4 大便器洗浄弁</p> <p>5 温水洗浄便座</p> <p>6 器具と排水管接続</p> <p>7 給水設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 弁類</p> <p>4 水槽のマンホール</p> <p>8 排水設備</p> <p>2 満水試験継手</p> <p>3 バイブシャフト内配管の保温</p> <p>4 煙試験</p> <p>9 給湯設備</p> <p>2 弁類</p> <p>10 消火設備</p> <p>2 弁類</p> <p>3 保温</p> <p>4 屋内消火栓</p> <p>5 ガス系消火剤の種類</p> <p>6 ガス系消火の起動方法</p> <p>11 ガス設備</p> <p>3 ガスメーター</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器廻りの配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p> <p>12 浄化槽設備</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒</p>	<p>型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型 ● 洗浄水量4リットル/回以下 <p>※ 個別感知方式 (● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池) ● 手動式</p> <p>電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池</p> <p>操作方式 ● 電気開閉式 (● センサー式 ● タッチスイッチ式) ● 手動式</p> <p>洗浄用水加温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式</p> <p>※ 標準図(施工64) ● 標準図(施工65)</p> <p>1 量水器</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 親メーター ※ 借用 ● 買取 (※直読 ● 遠隔表示) ● 子メーター ※ 買取 ● 借用 (※直読 ● 遠隔表示) <p>(ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316 ● H1VP ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配用水ポリエチレン管(75～100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下)</p> <p>(エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。</p> <p>(オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。)</p> <p>(カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手</p> <p>※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5K(受水槽以降の配管に使用) ● 10K(公営水道に直結する配管に使用) ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用) <p>屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保温形(二重蓋含む)とする。</p> <p>(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水管用継手)</p> <p>(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU(地中) ● REP-VU(地中) ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上にわたる排水管立管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工する ● 施工しない</p> <p>※ 行なくてもよい ● 図示の系統のみ行う</p> <p>1 配管材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5K ● 10K</p> <p>1 配管材料</p> <p>(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>※ 10K ● 16K</p> <p>(ア)呼吸タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・(ロ)による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 屋内消火栓用(※施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用(※施工しない ● 施工する) ● 連絡送水用(※施工しない ● 施工する) ● 連絡散水用(※施工しない ● 施工する) ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓(●1号 ● 2号) ● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23 ● 要 ● 自動手動切替式 <p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>● 親メーター ※ 借用 ● 買取(取付け ※ 別途 ● 本工事)</p> <p>● 子メーター ※ 買取 ● 借用(取付け ※ 本工事 ● 別途)</p> <p>● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買取</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c) ● 標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 不要 ● 要(※別途工事 ● 本工事) <p>● 小規模合併処理(●分離接触ばつ気方式 ● 嫌気床接触ばつ気方式 ● 脱窒床接触ばつ気方式)</p> <p>● 合併処理(●接触ばつ気方式 ● 長時間ばつ気方式 ● 回転板接触方式)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユニット型 ● 現場施工型 <p>● 処理対象人員 ● 処理水量 m³/d</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 砂 ● 掘切土中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) <p>※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																																																					
	外壁塗装	仕上げ塗材、下地塗材	外壁																																																																					
	設置場所	機器種別	●重要機器	●一般機器																																																																				
	上層階 屋上、塔屋	機器	2.0	1.5																																																																				
		防振設置機器	2.0	2.0																																																																				
		水槽類	2.0	1.5																																																																				
	中間階	機器	1.5	1.0																																																																				
		防振設置機器	1.5	1.5																																																																				
		水槽類	1.5	1.0																																																																				
地階・1階	機器	1.0	0.6																																																																					
	防振設置機器	1.0	1.0																																																																					
	水槽類	1.5	1.0																																																																					
	外気条件		室内(調整目標値)																																																																					
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																		
夏季	36.0℃	49.1%	28.0℃																																																																					
冬季	▲0.6℃	80.8%	19.0℃																																																																					
Living Environment Technology	株式会社 LET	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 津津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK DRAW	TITLE 県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事	DATE 2025.01	NO. 02																																																																		
株式会社 LET	一級建築士事務所/建築設備設計事務所	森本 津津 井田		NAME 機械設備工事 特記仕様書(2)	SCALE - (A2) - (A3)	M 31																																																																		



工事概要

1. 教室棟 1階～3階各教室のガス式マルチパッケージエアコンの更新（計6系統）
2. 教室棟 LPガスバルク貯槽の更新
3. 管理棟 1階進路指導室・進路資料室のパッケージエアコンの更新（計2組）
4. 上記に伴う、電気設備・自動制御設備・LPガス設備の改修



付近見取図

概略工事工程表(案)

工種	【令和7年】							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
準備工・検査	契約 ●	調査、準備					片付清掃・完成検査	
冷暖房設備	機器製作	GHP納期：2.5ヶ月～3ヶ月程度、EHP納期：1ヶ月程度						
	更新工事				施工	試運転調整	(予備期間)	
ガス設備	機器製作	バルク貯槽：1ヶ月～3ヶ月程度						
	更新工事				施工	試運転調整		
空調使用可否	使用可能			使用不可	使用可能	(予備期間)		
ガス使用可否	使用可能			使用不可 (1週間程度)	使用可能			
備考	※原則、夏休み期間中に試運転調整も含めて完了させること。 ※納期等のやむを得ない理由によりこの期間内に完了させることが困難な場合、10月の教室使用のない土日祝日作業にて施工する計画としてもよい。 ※上記を前提として、実施工程表を学校・監督員と十分に協議のうえ作成し、承諾を得て施工すること。							

※2025年1月17日現在



配置図 S=1/1000



凡 例

記号	名 称	新設管種・線種	既設管種・線種
— R —	冷媒管	冷媒用断熱材被覆銅管 CU (JDCA 0009)	冷媒用断熱材被覆銅管 CU
— D —	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP (JIS K6741)	硬質ポリ塩化ビニル管 VP
	ドレン管(※排気ドレン)	硬質ポリ塩化ビニル管 VP (JIS K6741)	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 HTVP
.....#.....	制御配線 (GHP系統)	※既設配線再利用	EM-CEES 1.25sq-2C
— # —		※一部新設部分 EM-CEES 1.25sq-2C (JCS 4258)	
.....###.....	リモコン配線 (GHP系統)	※既設配線再利用	EM-MEES 0.75sq-3C
— 2F3 —	室内外渡り線 (EHP系統)	EM-EEF 2.0-3CE1.6 (JIS C3605)	※図示
— # —	リモコン配線 (EHP系統)	EM-MEES 0.75sq-2C (JCS 4518)	※図示
— G —	LPガス管	配管用炭素鋼管 SGP (白) (JIS G3452)	配管用炭素鋼管 SGP (白)
.....	既設		
.....#.....	既設接続	既設との切離し・再接続部分を示す	

特 記

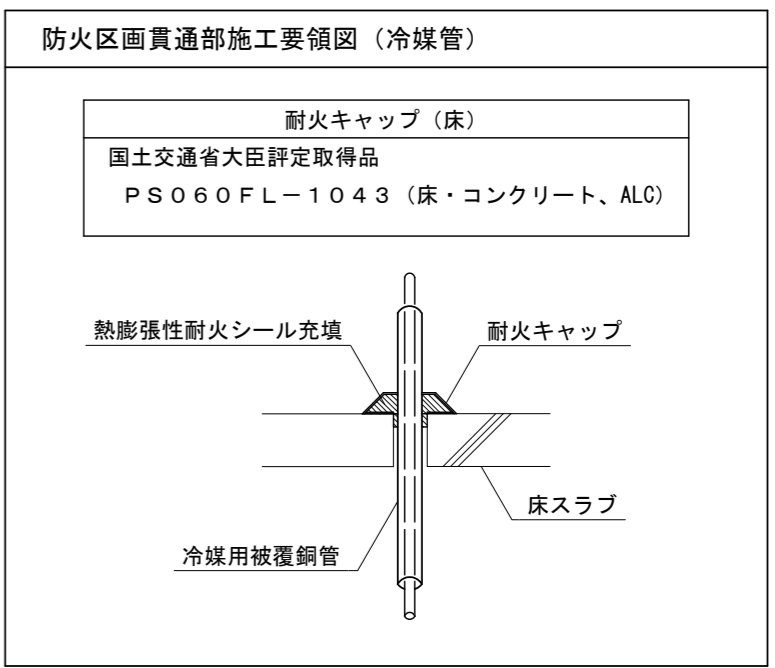
1. ガス式マルチパッケージエアコンの期間成績係数 (APFp) は、2.09以上の機種とすること。(但し、P355形以下の機種を除く。)また、定格能力、定格燃料消費量及び定格消費電力は、JIS B8627:2015に規定された定格条件による。
2. パッケージエアコンの期間成績係数 (APF) は、6.8以上の機種とすること。また、定格能力及び定格消費電力は、JIS B8616:2015に規定された定格条件による。
3. ガス式マルチパッケージエアコンは既設配管再使用に対応する機種とすること。ただし、採用メーカーに該当機種がない場合は、メーカー保証の基、配管洗浄等の既設適合措置を施したうえで、新設用機種としてもよいものとする。
4. 図示した改修範囲を除く既設配管、既設配線は再使用できるものとして設計している。これらの既設設備の追加改修が必要となる機種を採用する場合、受注者の負担により改修すること。
5. ガス式マルチパッケージエアコンの既設制御配線・リモコン線 (2芯のみ使用、不要線末端処理共)・電源線は再使用とし、取外し再接続を行う。
6. パッケージエアコンの冷媒配管、制御配線等は全て更新とする。
7. 転倒防止金具は溶融亜鉛めっき仕上げ又は、ステンレス製とする。
8. ガス式マルチパッケージエアコンの屋内・屋外露出冷媒管は樹脂製化粧ケース仕上げとする。
9. パッケージエアコンの屋外露出冷媒管は樹脂製化粧ケース仕上げ、露出ドレン管はカラーVPとする。
10. 更新するガス管は、塗装仕上げとする。
11. 既設配管支持鋼材・架台等を再利用する場合は、錆部分をケレン処理・錆止め塗装補修を行うこと。
12. 室外機架台固定設置用の後打ちアンカーは、鉄筋探査及び全数のアンカー固定強度確認 (引張試験) を行うこと。
13. 図中の特記なき冷媒管・ドレン管・ガス管は隠ぺい配管とし、配線は冷媒管共巻きとする。
14. 図中の既設機器・配管・配線等は参考とし、現地確認のうえ検討・施工すること。
15. 作業前の内部養生を適切に行い、仕上げ物を損傷しないように配慮すること。

教室棟	各階：普通教室、選択教室 (CH=3,000)	有孔吸音板 9t 450×450 突付け
	各階：廊下 (CH=2,700)	石こうボード 9t 1,820×910 目透かし
管理棟	1階：進路指導室 (CH=3,000)	石こうボード 9t 1,820×910 目透かし
	1階：進路資料室 (CH=3,000)	有孔吸音板 9t 450×450 突付け

場 所	該当部分	分析の要否	処 理 方 法	
外 壁	塗料 (モルタル刷毛引きアクリルリシン吹付)	—	穴開け (集じん機付きドリル使用、湿潤化、養生等)	含有あり (みなし)
廊下、進路指導室	天井材 (石こうボード 9t 1,820×910 目透かし)	○ (1棟体)	既存天井材撤去 → 新設天井材張替え (石こうボード 9.5t、塗装仕上げ共)	含有なしの場合
普通教室、選択教室、進路資料室	天井材 (有孔吸音板 9t 450×450)	○ (1棟体)	既存天井材撤去 → 新設天井材張替え (吸音用穴あき化粧石こうボード 9.5t)	含有なしの場合

※公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。
 ※「大気汚染防止法」のほか、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例」等の関係法令に基づいて行う。
 ※アスベスト含有の分析は定性分析 (JIS A1481-1または同1481-2) による。

記号	名 称	備 考
[R]	個別リモコン	既設一種金属線び、スイッチボックス再利用
[CR]	集中管理リモコン	既設集中コントローラ盤を再利用して組込み
☒PB	ブルボックス	SS150×150×100C、配線接続共
[NIT]	既設パソコン対応ユニット	
— ☐ — (※露出) (※隠ぺい)	配線立下げ露出部分	一種金属線び (A型) 保護 ※隠ぺい部分は天井内転がし
— ☐ —	防火区画貫通部	耐火キャップ (国土交通大臣認定取得品)
.....☐.....	配管キャップ止め	
☒	既設配管貫通開口部	再利用 小はつり・モルタル補修共
⊕	ガス中間コック	
~	フレキシブル継手	SUS製
☒	ガス遮断弁	
[VC]	遮断弁コントローラ	
[GM]	既設ガスメーター	
☐	天井点検口	450×450 開口補強共
☐	既存天井点検口	450×450



冷暖房機器表 (新設)

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	台数	備考
ACP 1	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン	天井カセット形・4方向吹出 80型	電源:1φ200V	1	設置場所:1階 進路指導室 (管理棟) ※コンクリート基礎新設
		定格冷房能力: 7.1 kW 定格冷房消費電力: 1.65 kW	圧縮機:1.40 kW		
		定格暖房能力: 8.0 kW 定格暖房消費電力: 1.62 kW	送風機(内):0.120 kW		
		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン、 鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、転倒防止金具×2個、 その他標準付属品共	送風機(外):0.086 kW		
ACP 2	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン	天井カセット形・4方向吹出 80型	電源:1φ200V	1	設置場所:1階 進路資料室 (管理棟) ※既存コンクリート基礎再利用
		定格冷房能力: 7.1 kW 定格冷房消費電力: 1.65 kW	圧縮機:1.40 kW		
		定格暖房能力: 8.0 kW 定格暖房消費電力: 1.62 kW	送風機(内):0.120 kW		
		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン、 鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、転倒防止金具×2個、 その他標準付属品共	送風機(外):0.086 kW		
GHP 1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 224型 臭気低減仕様(リニューアル対応)	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎再利用
		定格冷房能力: 22.4 kW 定格冷房消費電力: 0.378 kW	冷却水ポンプ:0.08 kW		
		定格暖房能力: 25.0 kW 定格暖房消費電力: 0.466 kW	送風機:0.275+0.275 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 19.1 kW 暖房 18.6 kW			
		付属品:防雪ネット・鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、 フィン保護ガード、その他標準付属品共			
GHP 1-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 選択教室6 (教室棟)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.080 kW	送風機:0.105 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.080 kW			
		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全1個)、その他標準付属品共			
GHP 2	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型 臭気低減仕様(リニューアル対応)	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎再利用
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 0.998 kW	冷却水ポンプ:0.13 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 0.602 kW	送風機:0.36+0.42 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 49.4 kW 暖房 44.6 kW			
		付属品:防雪ネット・鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、 分岐管(第一分岐部)×1個、フィン保護ガード、その他標準付属品共			
GHP 2-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 80型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 選択教室5 (教室棟)
		定格冷房能力: 8.0 kW 定格冷房消費電力: 0.065 kW	送風機:0.058 kW		
		定格暖房能力: 9.0 kW 定格暖房消費電力: 0.065 kW			
GHP 2-2		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全2個)、その他標準付属品共		2	設置場所:2階 選択教室3 (教室棟)
GHP 2-3	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:3階 選択教室1 (教室棟)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.080 kW	送風機:0.105 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.080 kW			
		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全1個)、その他標準付属品共			
GHP 3	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型 臭気低減仕様(リニューアル対応)	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎再利用
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 0.998 kW	冷却水ポンプ:0.13 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 0.602 kW	送風機:0.36+0.42 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 49.4 kW 暖房 44.6 kW			
		付属品:防雪ネット・鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、 分岐管(第一分岐部)×1個、フィン保護ガード、その他標準付属品共			
GHP 3-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 80型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室B3 (教室棟)
		定格冷房能力: 8.0 kW 定格冷房消費電力: 0.065 kW	送風機:0.058 kW		
		定格暖房能力: 9.0 kW 定格暖房消費電力: 0.065 kW			
GHP 3-2		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全2個)、その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室B2 (教室棟)
GHP 3-3	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:3階 普通教室B1 (教室棟)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.080 kW	送風機:0.105 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.080 kW			
		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全1個)、その他標準付属品共			

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	台数	備考
GHP 4	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型 臭気低減仕様(リニューアル対応)	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎再利用
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 0.998 kW	冷却水ポンプ:0.13 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 0.602 kW	送風機:0.36+0.42 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 49.4 kW 暖房 44.6 kW			
		付属品:防雪ネット・鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、 分岐管(第一分岐部)×1個、フィン保護ガード、その他標準付属品共			
GHP 4-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 80型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室E3 (教室棟)
		定格冷房能力: 8.0 kW 定格冷房消費電力: 0.065 kW	送風機:0.058 kW		
		定格暖房能力: 9.0 kW 定格暖房消費電力: 0.065 kW			
GHP 4-2		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全2個)、その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室E2 (教室棟)
GHP 4-3	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:3階 普通教室E1 (教室棟)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.080 kW	送風機:0.105 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.080 kW			
		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全1個)、その他標準付属品共			
GHP 5	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型 臭気低減仕様(リニューアル対応)	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎再利用
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 0.998 kW	冷却水ポンプ:0.13 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 0.602 kW	送風機:0.36+0.42 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 49.4 kW 暖房 44.6 kW			
		付属品:防雪ネット・鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、 分岐管(第一分岐部)×1個、フィン保護ガード、その他標準付属品共			
GHP 5-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 80型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室S3 (教室棟)
		定格冷房能力: 8.0 kW 定格冷房消費電力: 0.065 kW	送風機:0.058 kW		
		定格暖房能力: 9.0 kW 定格暖房消費電力: 0.065 kW			
GHP 5-2		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全2個)、その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室S2 (教室棟)
GHP 5-3	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:3階 普通教室S1 (教室棟)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.080 kW	送風機:0.105 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.080 kW			
		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全1個)、その他標準付属品共			
GHP 6	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型 臭気低減仕様(リニューアル対応)	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎再利用
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 0.998 kW	冷却水ポンプ:0.13 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 0.602 kW	送風機:0.36+0.42 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 49.4 kW 暖房 44.6 kW			
		付属品:防雪ネット・鋼製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、 分岐管(第一分岐部)×1個、フィン保護ガード、その他標準付属品共			
GHP 6-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 80型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室M3 (教室棟)
		定格冷房能力: 8.0 kW 定格冷房消費電力: 0.065 kW	送風機:0.058 kW		
		定格暖房能力: 9.0 kW 定格暖房消費電力: 0.065 kW			
GHP 6-2		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全2個)、その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室M2 (教室棟)
GHP 6-3	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・4方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:3階 普通教室M1 (教室棟)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.080 kW	送風機:0.105 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.080 kW			
		付属品:標準パネル、リニューアルパネル、ドレンアップ、 ワイヤードリモコン(×全1個)、その他標準付属品共			
SCR 1	集中管理リモコン	液晶タッチパネル式コントローラー(全16グループ分個別制御機能付き)	電源:1φ100V・200V	1	設置場所:1階 事務室 (管理棟)
		グループ単位運転/停止、一括運転/停止、 冷暖房切替、温度設定、個別リモコン操作禁止設定、緊急停止入力、 運転監視(運転/停止、故障異常、運転モード、設定・室内温度、優先指示)、 スケジュール管理(グループ・一括単位、年間、当日)	消費電力:9 W		
		付属品:その他標準付属品共			

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課

Living Environment Technology

株式会社 LET
一級建築士事務所/建築設備設計事務所

一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号
管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号
建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号

CHECK

DRAW

TITLE

鳥取県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事

DATE 2025.01

NO.

05



NAME

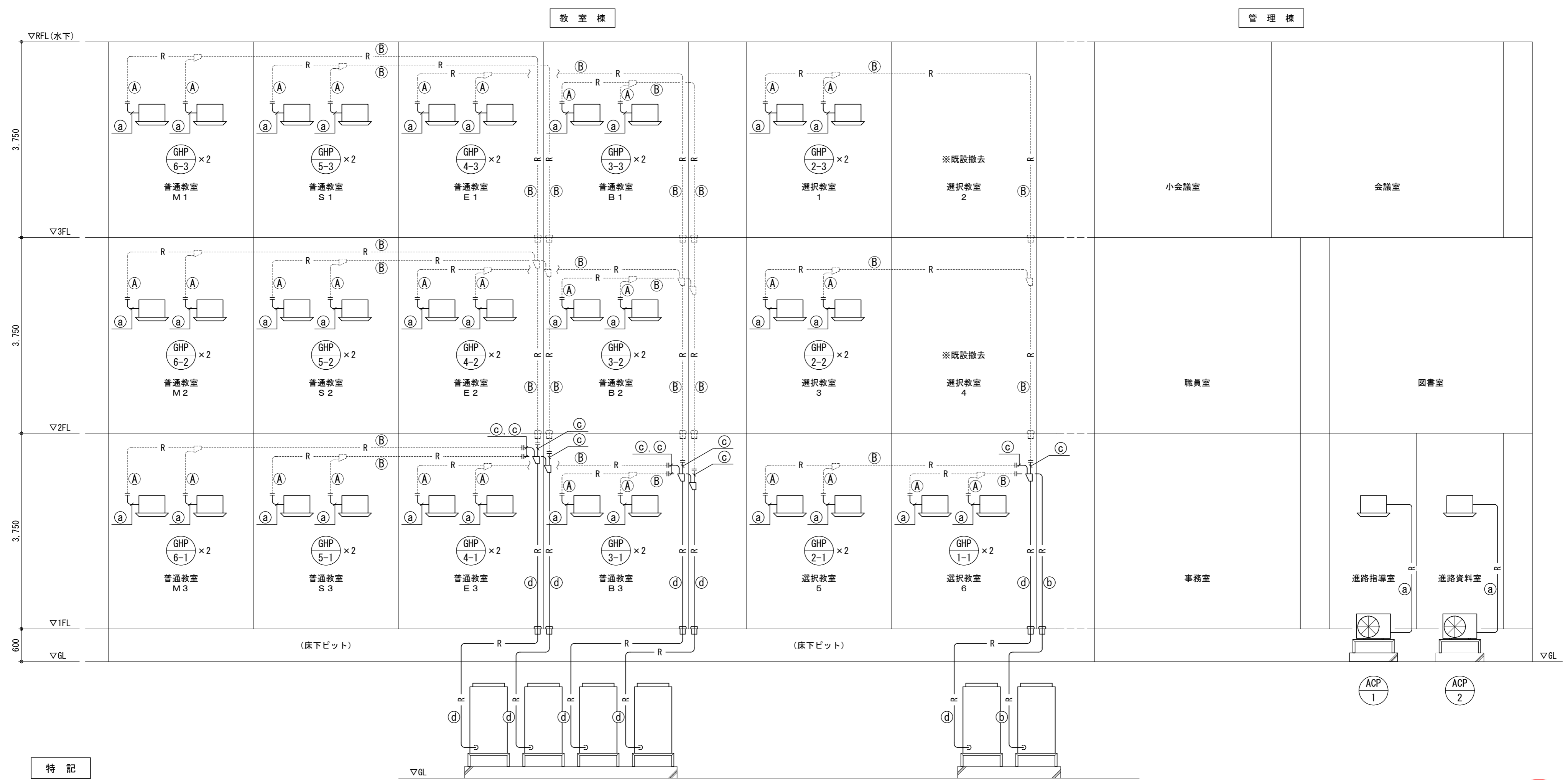
冷暖房設備 機器表(改修後)

SCALE - (A2)
- (A3)

M

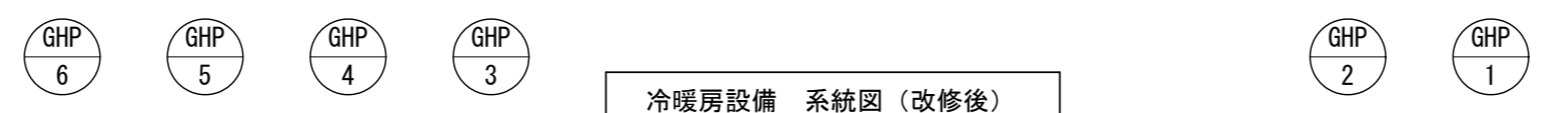
31

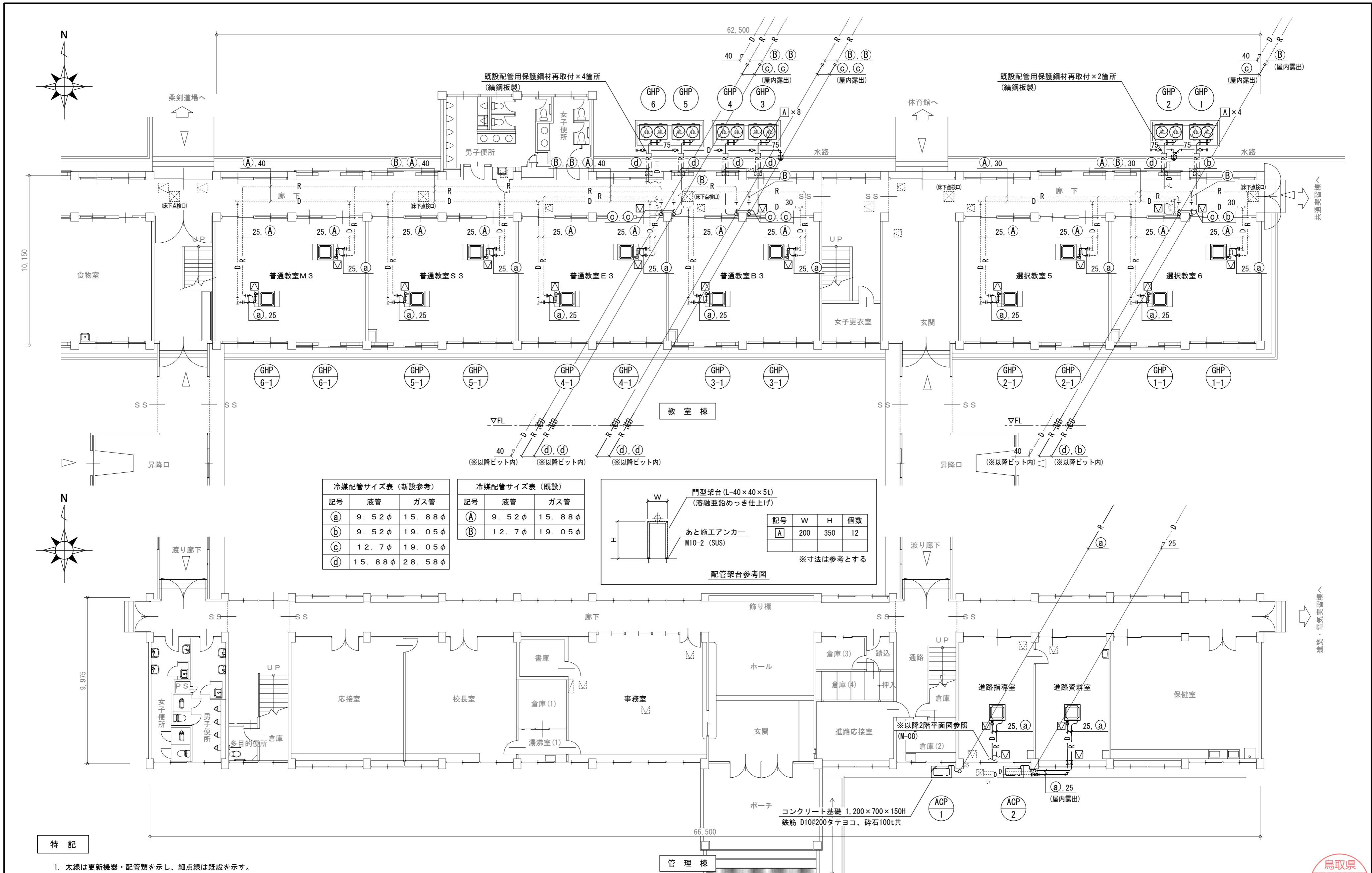
冷媒配管サイズ表 (新設参考)			冷媒配管サイズ表 (既設)		
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
(a)	9.52φ	15.88φ	(A)	9.52φ	15.88φ
(b)	9.52φ	19.05φ	(B)	12.7φ	19.05φ
(c)	12.7φ	19.05φ			
(d)	15.88φ	28.58φ			



特記
1. 太線は更新機器・配管類を示し、細線は既設を示す。

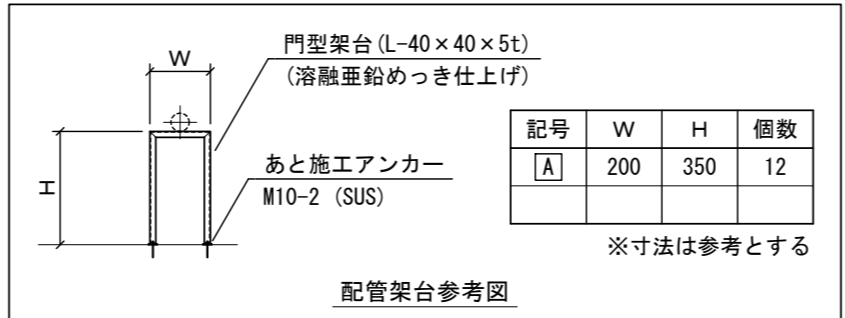
冷暖房設備 系統図 (改修後)





記号	液管	ガス管
(a)	9.52φ	15.88φ
(b)	9.52φ	19.05φ
(c)	12.7φ	19.05φ
(d)	15.88φ	28.58φ

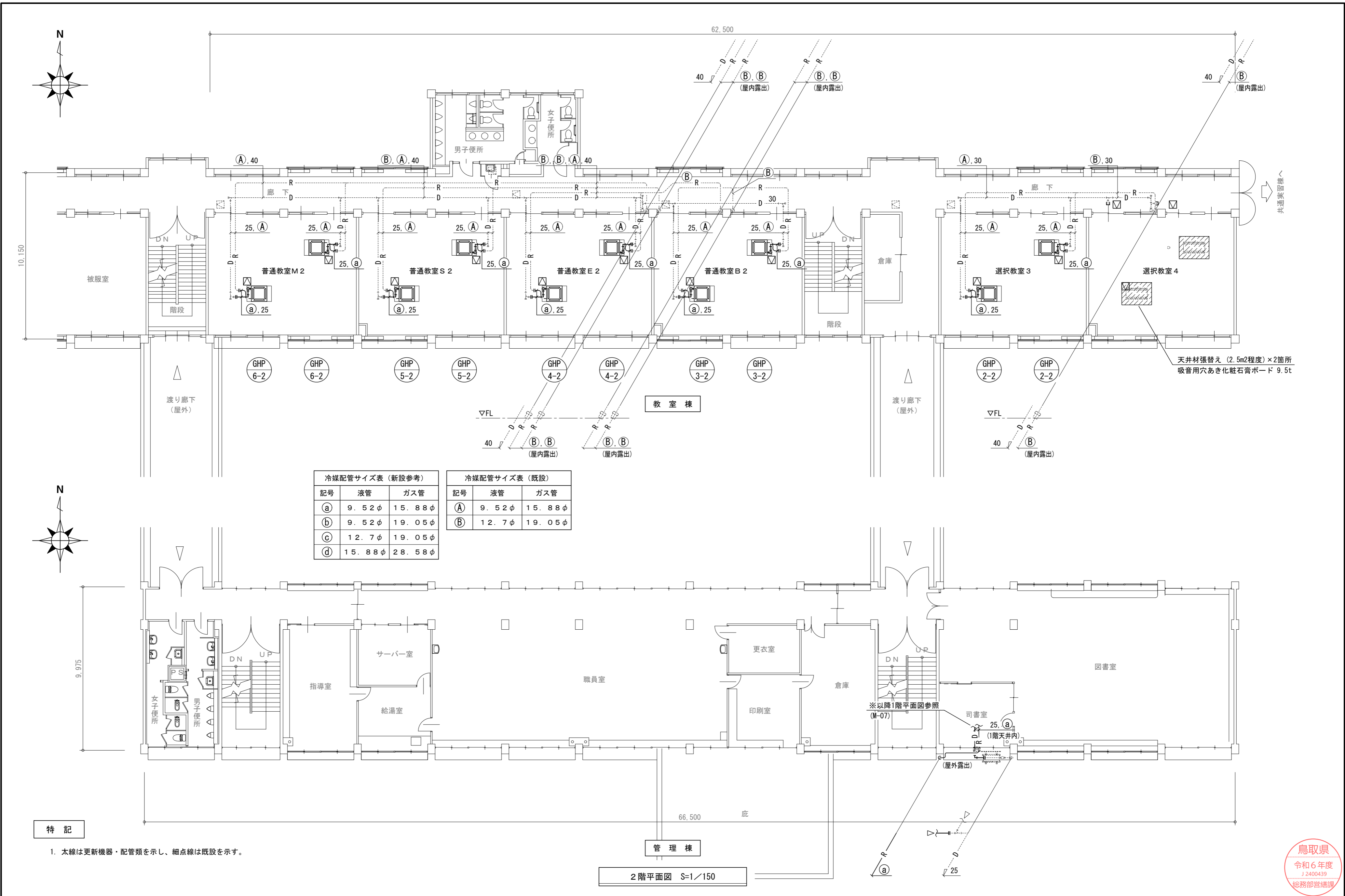
記号	液管	ガス管
(A)	9.52φ	15.88φ
(B)	12.7φ	19.05φ



特記

1. 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

1階平面図 S-1/150

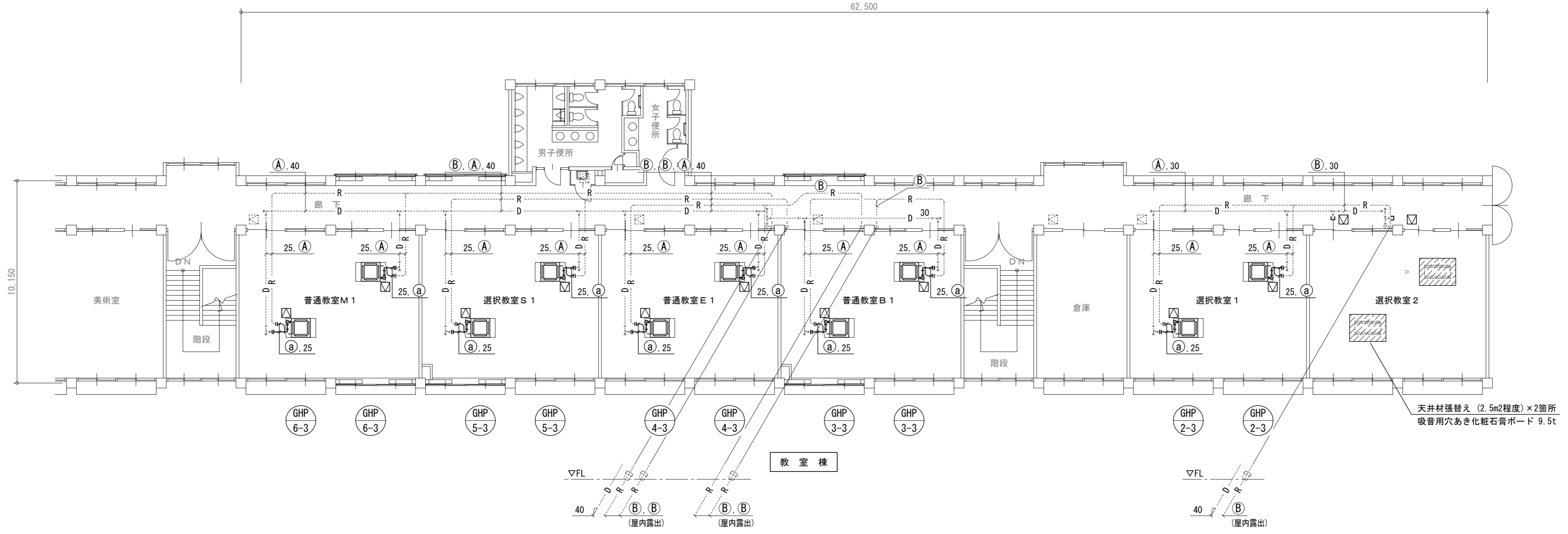
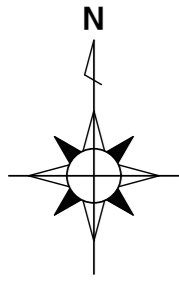


冷媒配管サイズ表 (新設参考)			冷媒配管サイズ表 (既設)		
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	9.52φ	15.88φ	A	9.52φ	15.88φ
b	9.52φ	19.05φ	B	12.7φ	19.05φ
c	12.7φ	19.05φ			
d	15.88φ	28.58φ			

特記
1. 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

2階平面図 S-1/150

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課

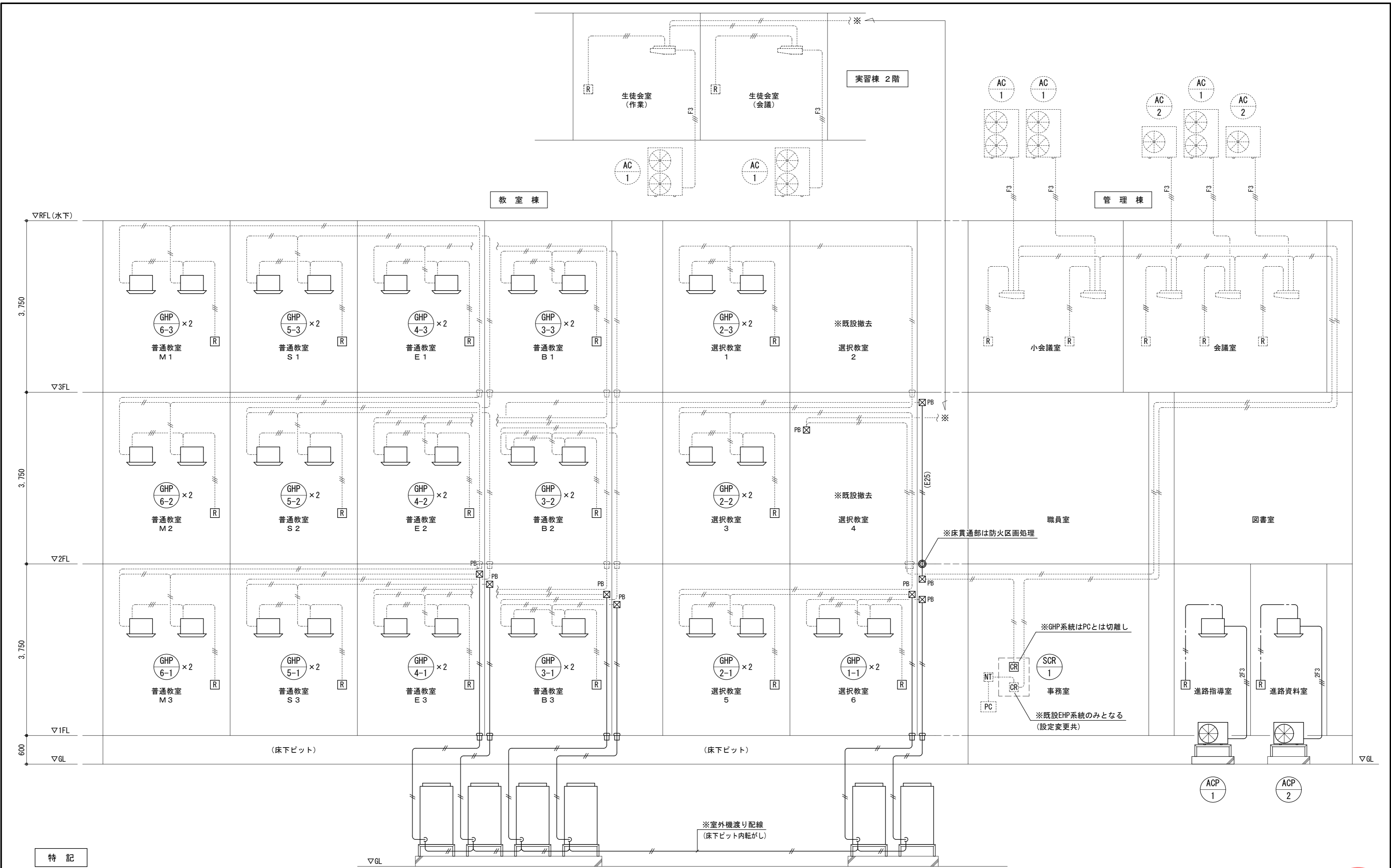


冷媒配管サイズ表 (新設参考)			冷媒配管サイズ表 (既設)		
記号	液管	ガス管	記号	液管	ガス管
a	9.52φ	15.88φ	A	9.52φ	15.88φ
b	9.52φ	19.05φ	B	12.7φ	19.05φ
c	12.7φ	19.05φ			
d	15.88φ	28.58φ			

特記
1. 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

3階平面図 S=1/150



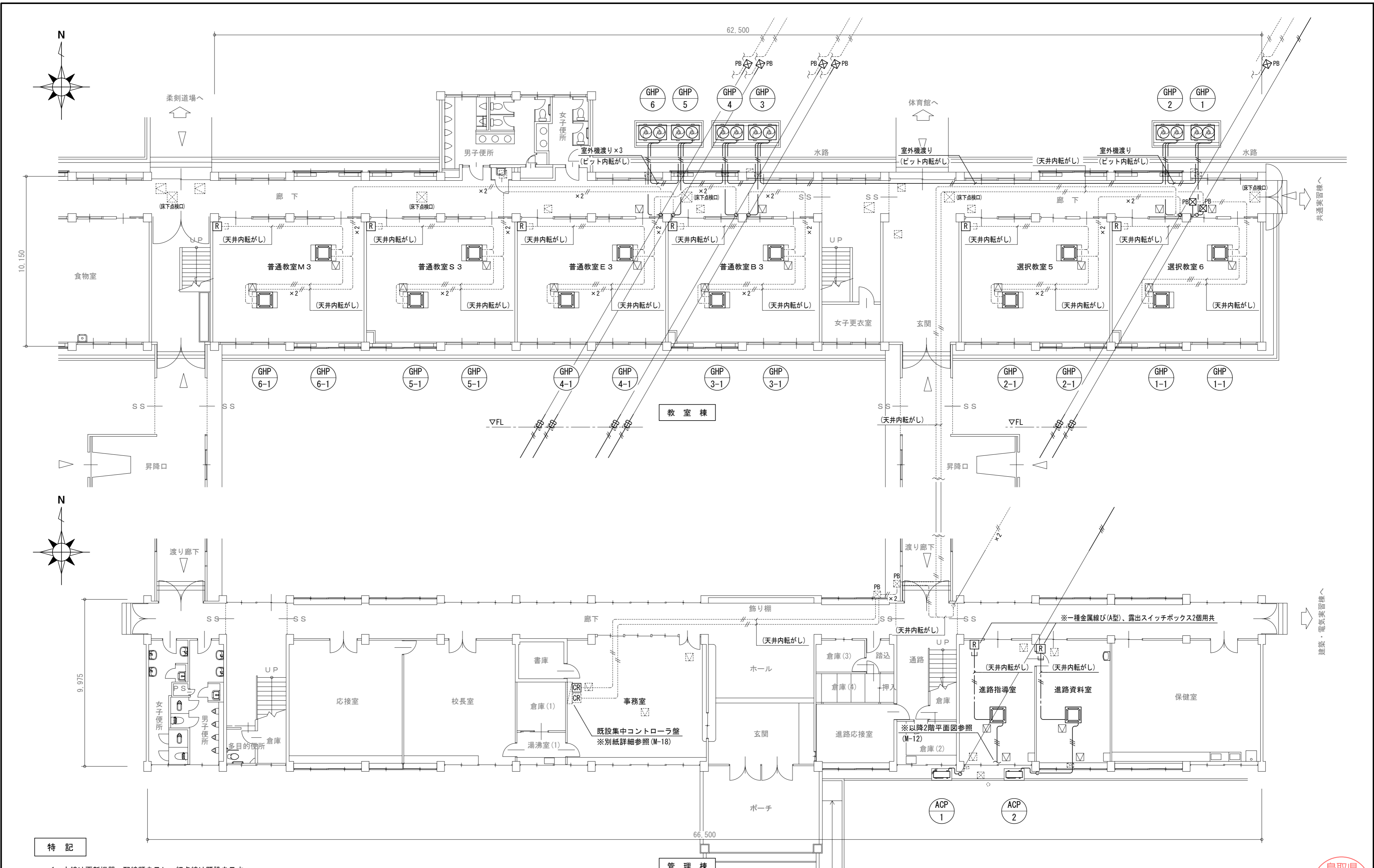


特記
1. 太線は更新機器・配線類を示し、細線は既設を示す。



Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 自動制御設備 系統図 (改修後)	2025.01 - (A2) - (A3)	10 M 31

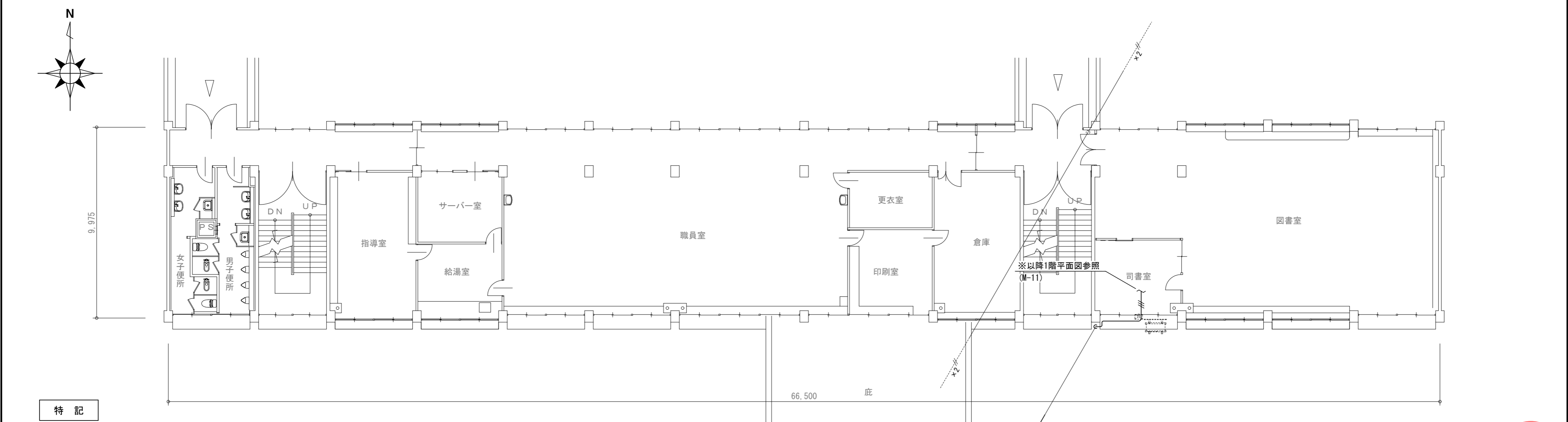
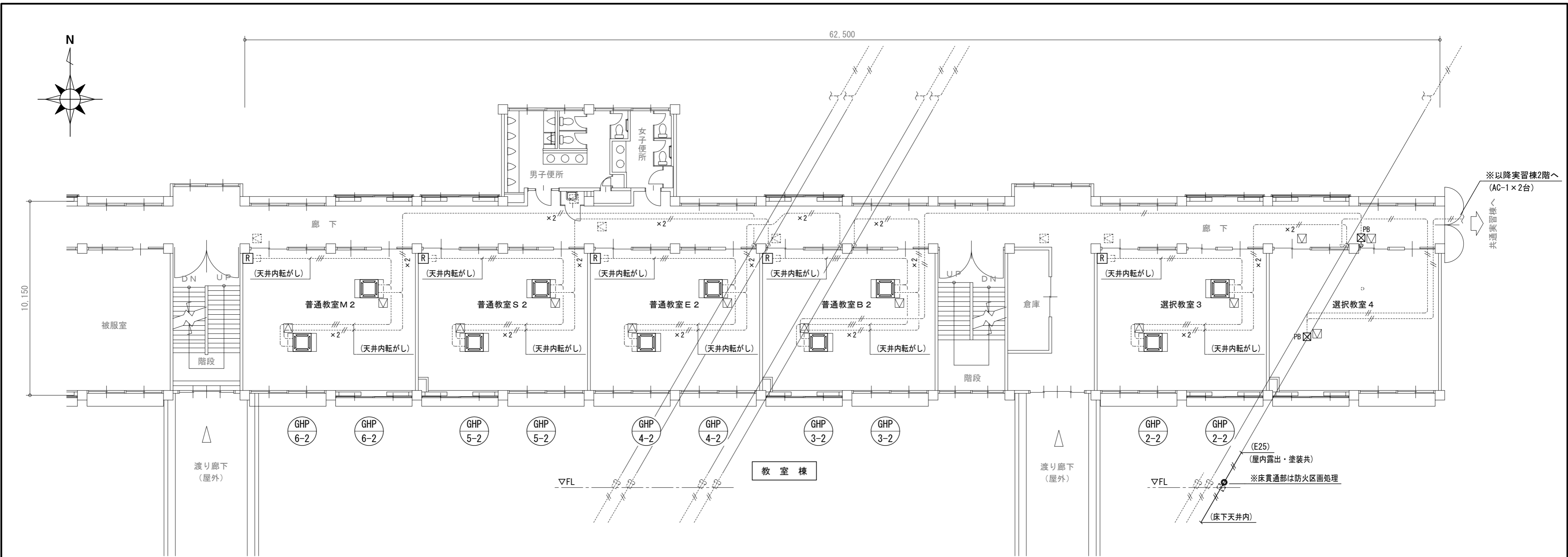
鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課



特記
1. 太線は更新機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。

1階平面図 S-1/150

Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK 	DRAW 	TITLE 県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 NAME 自動制御設備 1階平面図 (改修後)	DATE 2025.01 SCALE 1/150 (A2) 1/211 (A3)	NO. M 11 31
	鳥取県 令和6年度 J2400439 総務部管轄課					

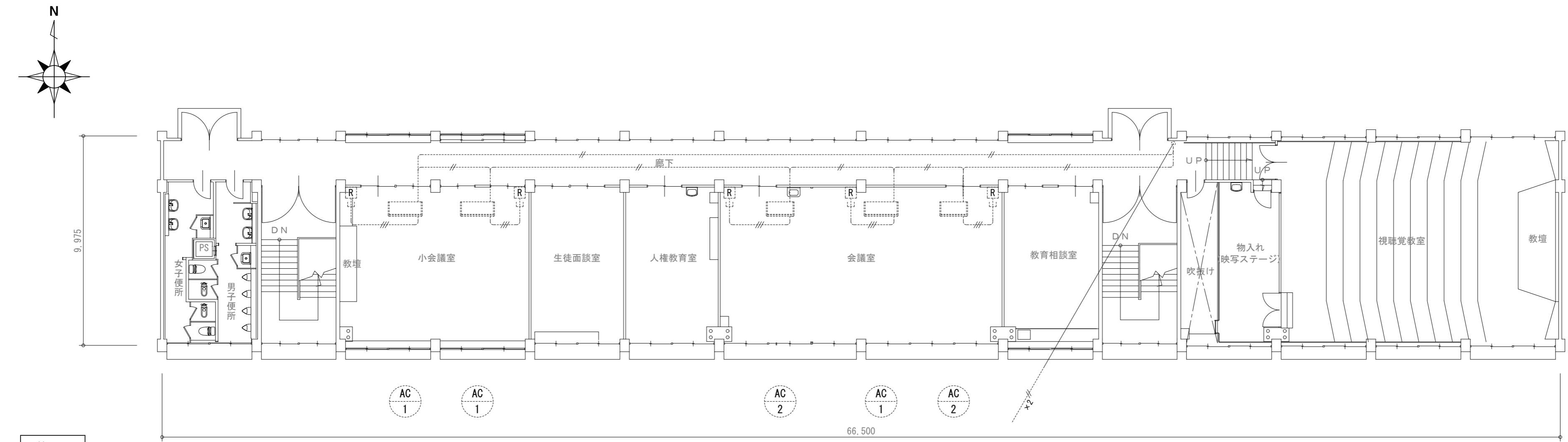
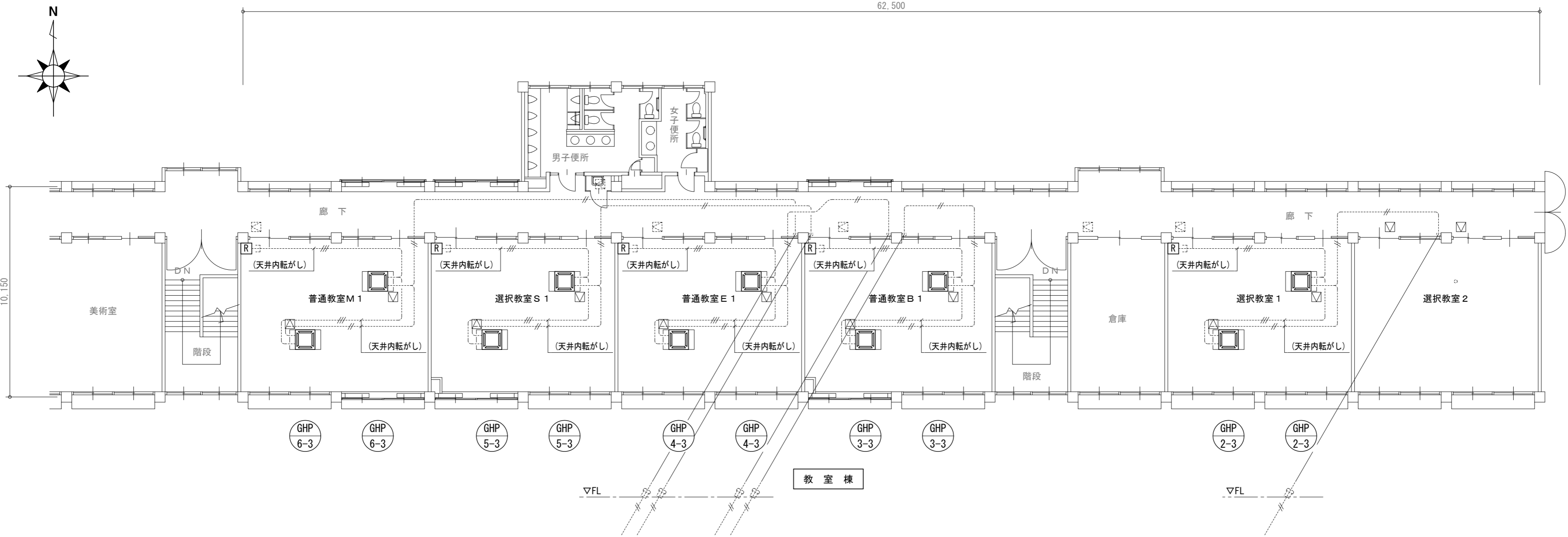


特記
1. 太線は更新機器・配線類を示し、細線は既設を示す。

2階平面図 S-1/150



Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
	管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 船津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号			県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事	2025.01	12
				NAME	SCALE	M
				自動制御設備 2階平面図 (改修後)	1/150 (A2) 1/211 (A3)	31



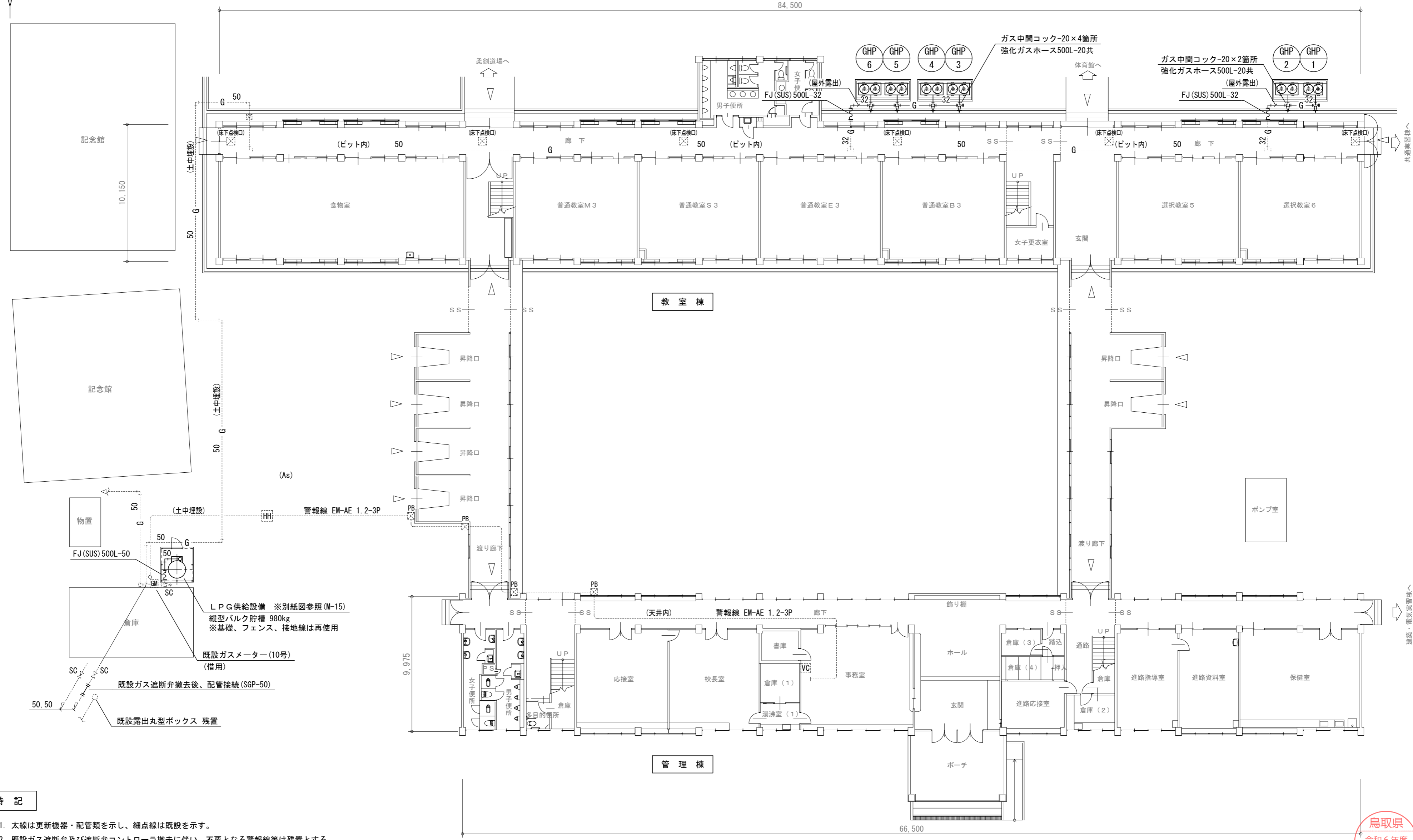
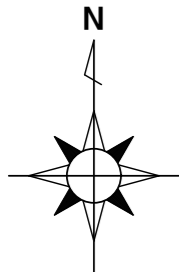
特記

1. 太線は更新機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。

3階平面図 S=1/150

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課

Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 船津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO. M 13 31
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 自動制御設備 3階平面図 (改修後)	2025.01 SCALE 1/150 (A2) 1/211 (A3)	



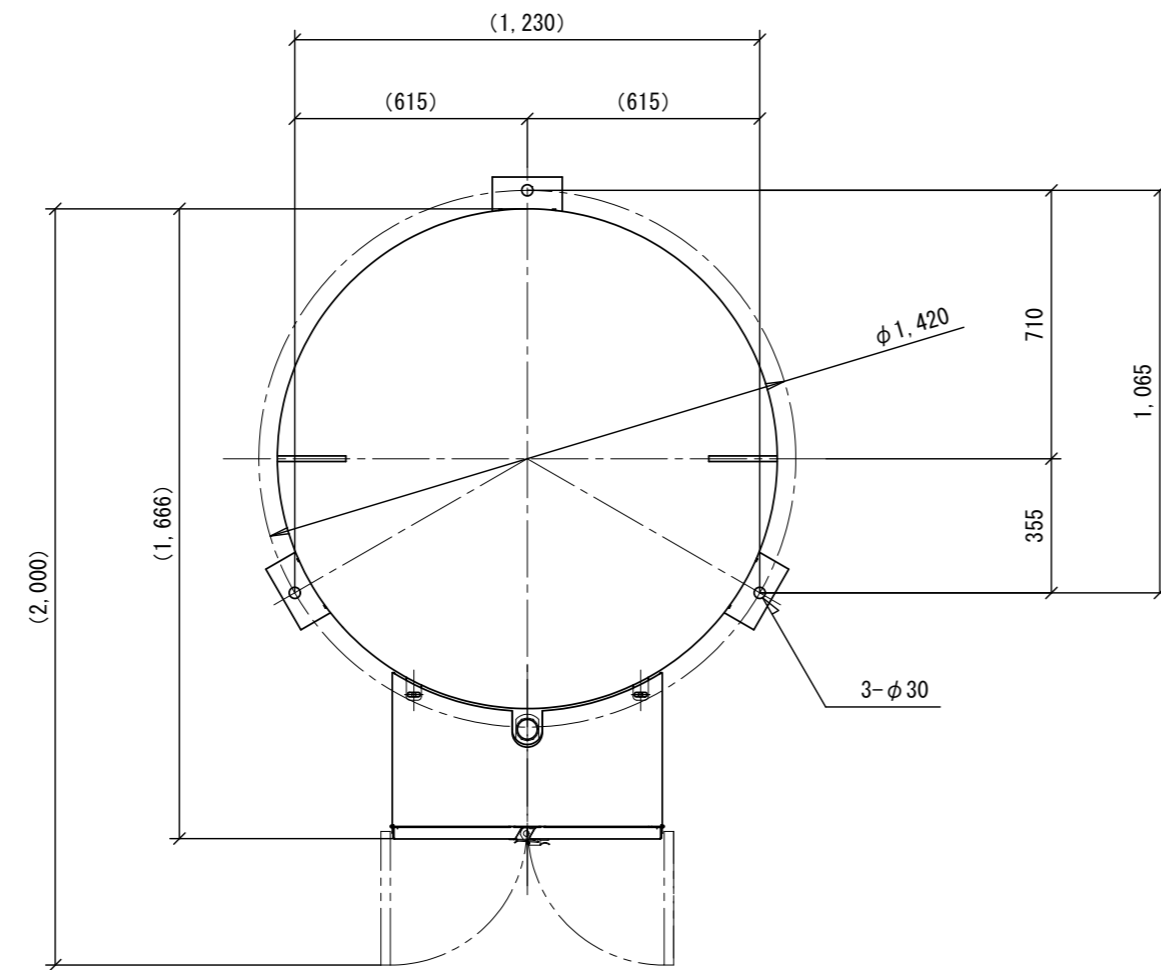
特記

1. 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。
2. 既設ガス遮断弁及び遮断弁コントローラ撤去に伴い、不要となる警報線等は残置とする。

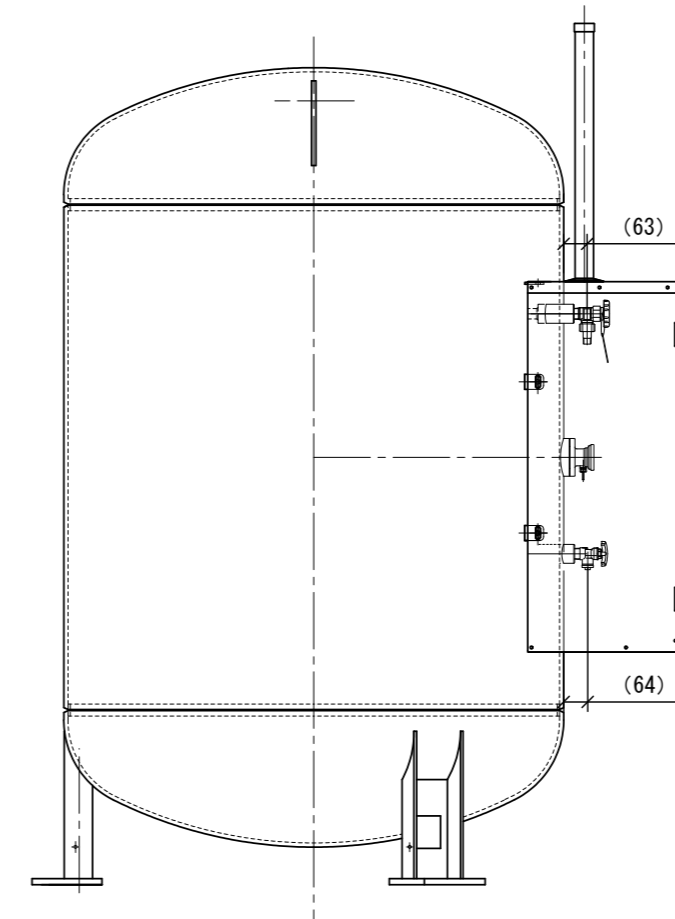
1階平面図 S-1/200



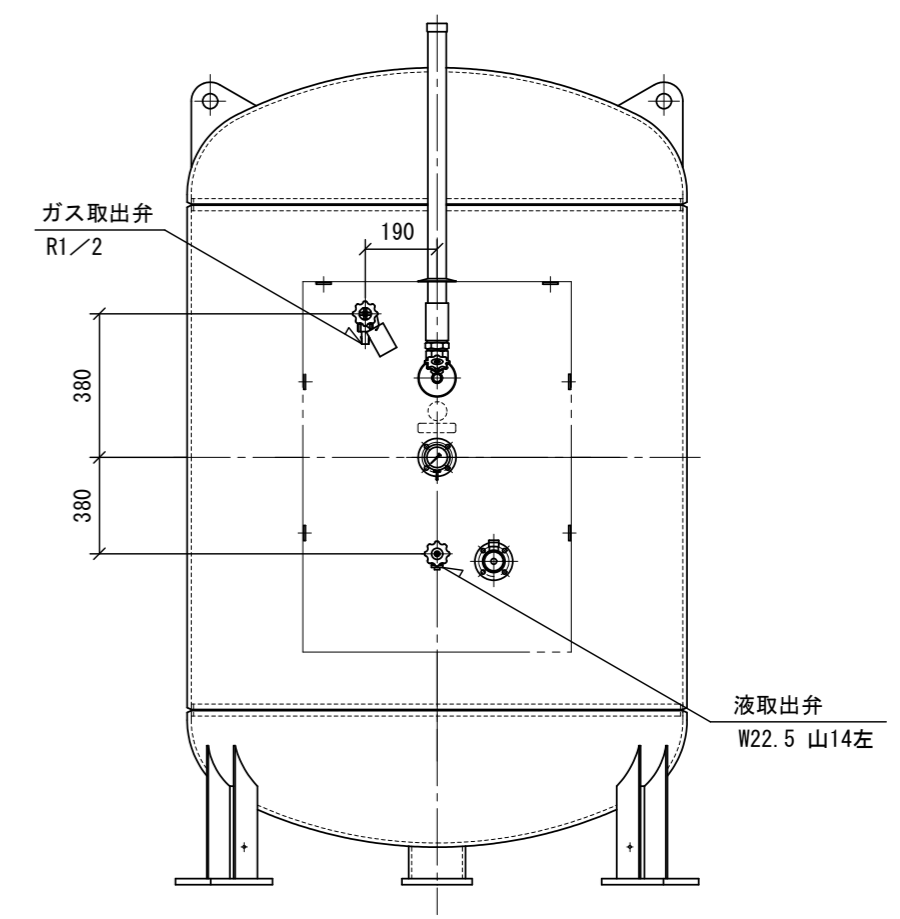
Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 ガス設備 1階平面図(改修後)	2025.01 1/200 (A2) 1/282 (A3)	14 M 31



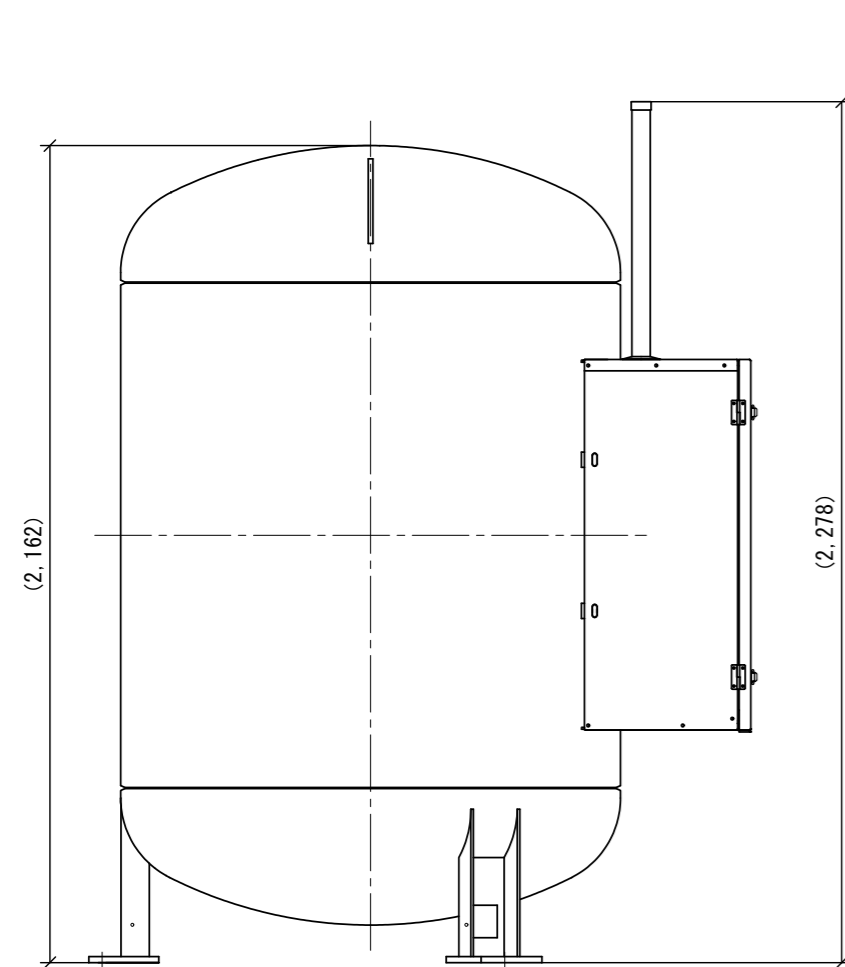
平面図



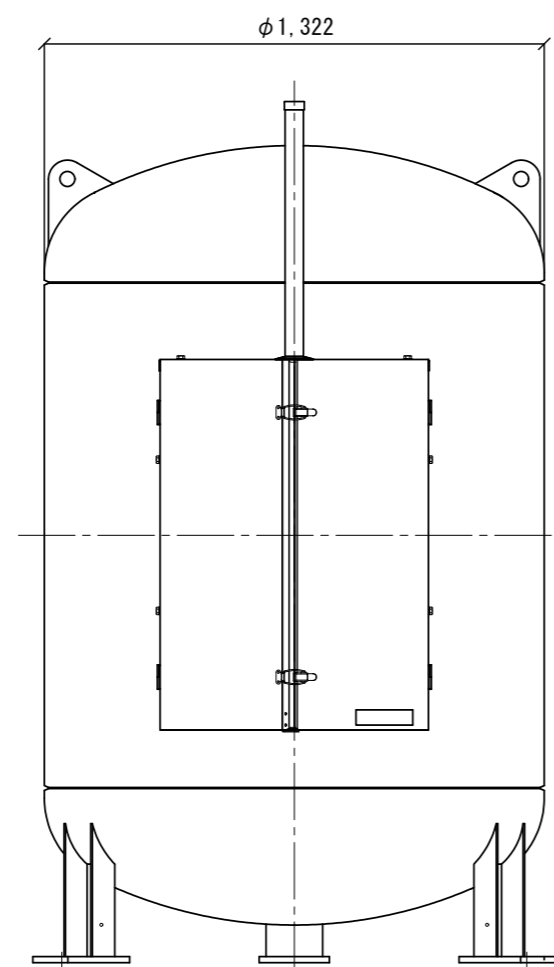
左側面透過図



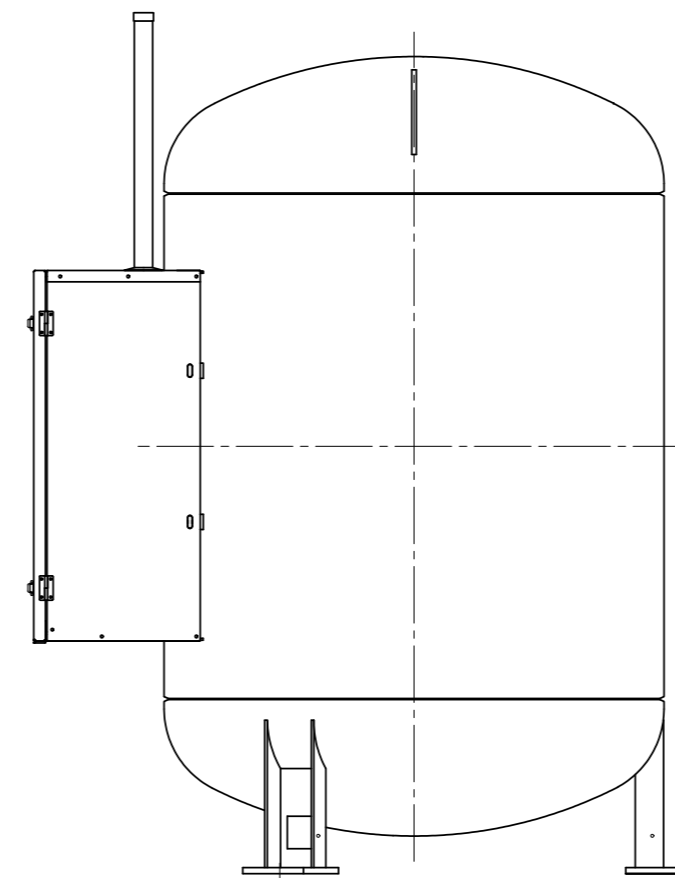
正面透過図



左側面図



正面図



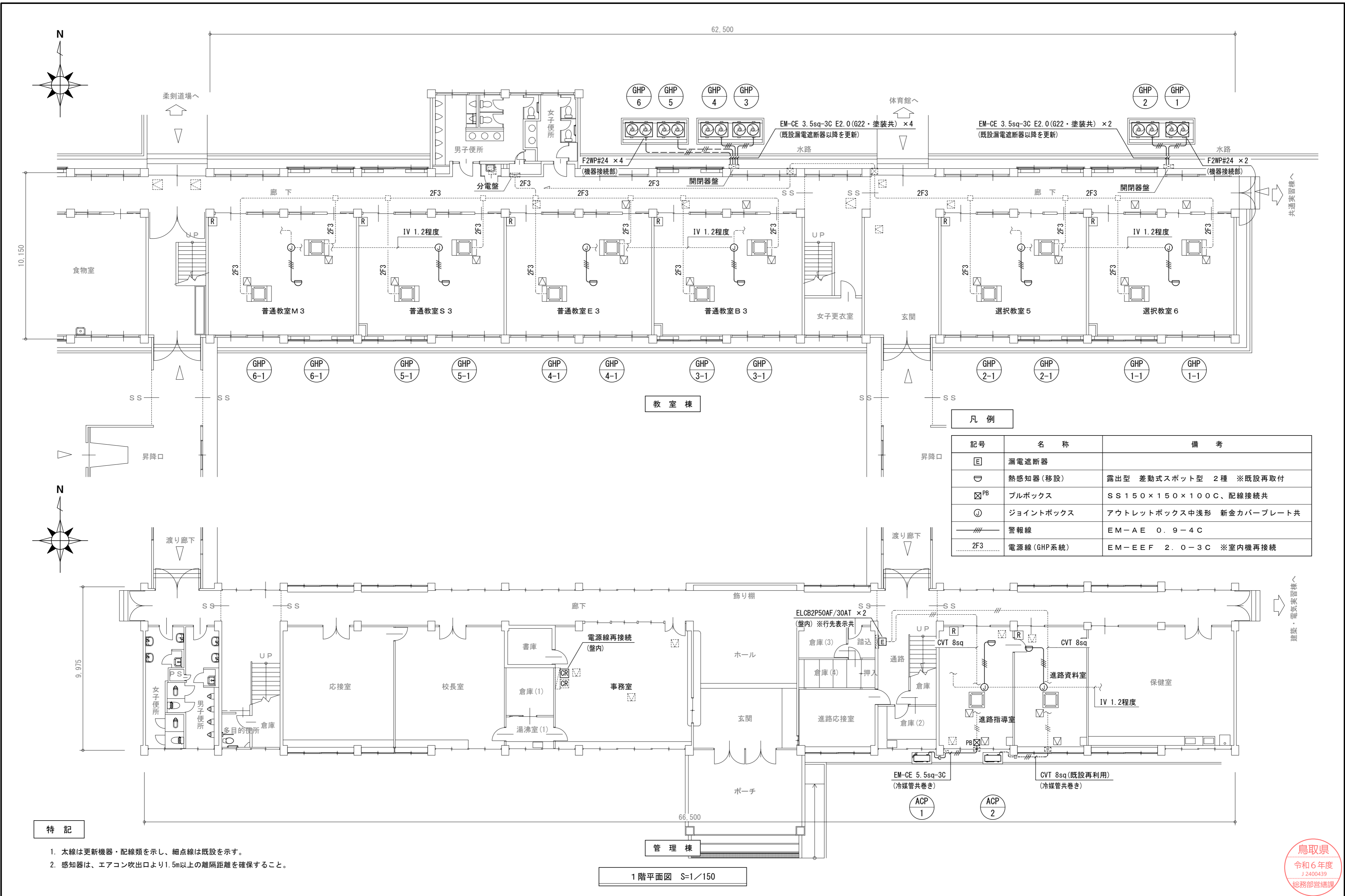
右側面図

LPG供給設備 機器仕様 (改修参考)	
名称	縦型バルク貯槽 980kg型
内容物	LPGガス
内容量	2,420L
常用温度	常温
設計圧力	1.8MPa
設計温度	40℃
塗装	粉体塗装方式 (ポリエステル樹脂系塗料)
塗装色	ライトグレー (2.5Y 9/2)
その他	あと施工アンカーM16(SUS)×3、調整器、圧力計他付属品共
設計用水平震度	1.0G
※「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施行規則」適合品とし、「高圧ガス保安法」で定める特定設備検査合格証又は特定設備基準適合証の交付を受けたものとする。	
※「バルク供給及び充てん設備に関する技術上の基準等の細目を定める告示」に定める、安全弁、液面計、過充填防止装置、液取入弁、ガス取出弁、液取出弁、均圧弁、ガス放出防止器、プロテクター等を備えたものとする。	
※あと施工アンカーの施工にあたっては、事前に既存基礎の鉄筋探査を行い、施工後は引張試験により固定強度の確認を全数行うこと。	
※接地線の再利用にあたっては、接地抵抗の測定を行い、必要な抵抗値以下となっていることを確認すること。	

LPG供給設備詳細図 (改修参考) S=1/20

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部営繕課

Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 越津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事	2025.01	M 15
				NAME	SCALE	
				ガス設備 LPG供給設備詳細図 (改修参考)	1/20 (A2) 1/28 (A3)	31



凡例

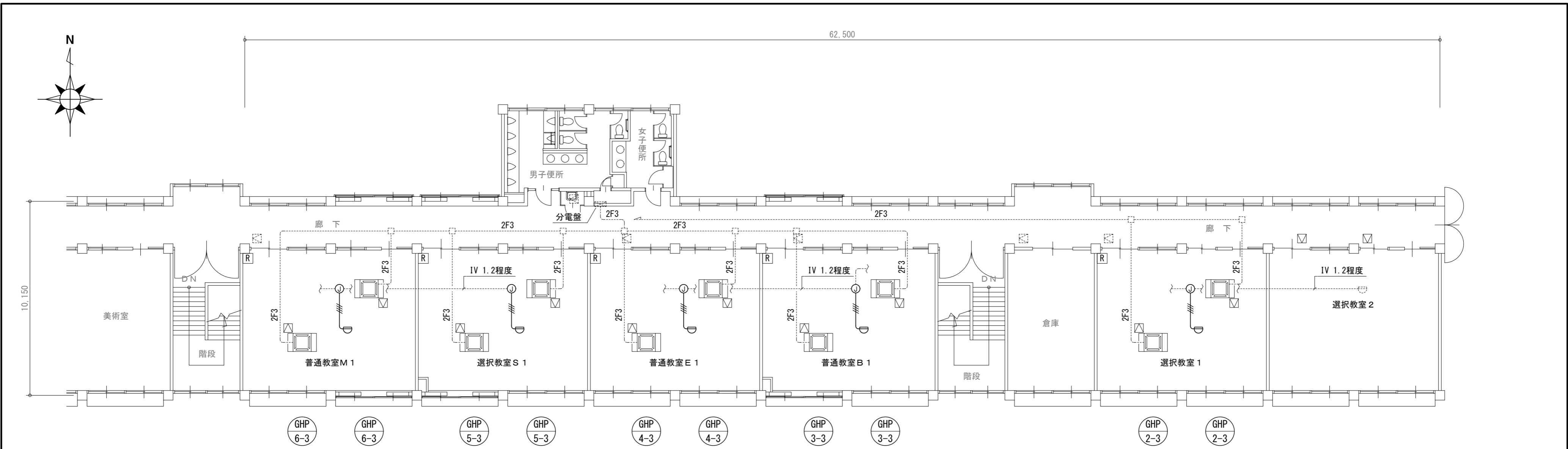
記号	名称	備考
ⓔ	漏電遮断器	
☺	熱感知器(移設)	露出型 差動式スポット型 2種 ※既設再取付
☒PB	プルボックス	SS150×150×100C、配線接続共
Ⓞ	ジョイントボックス	アウトレットボックス中浅形 新金カバープレート共
---	警報線	EM-AE 0.9-4C
2F3	電源線(GHP系統)	EM-EEF 2.0-3C ※室内機再接続

特記

- 太線は更新機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。
- 感知器は、エアコン吹出口より1.5m以上の離隔距離を確保すること。

1階平面図 S-1/150



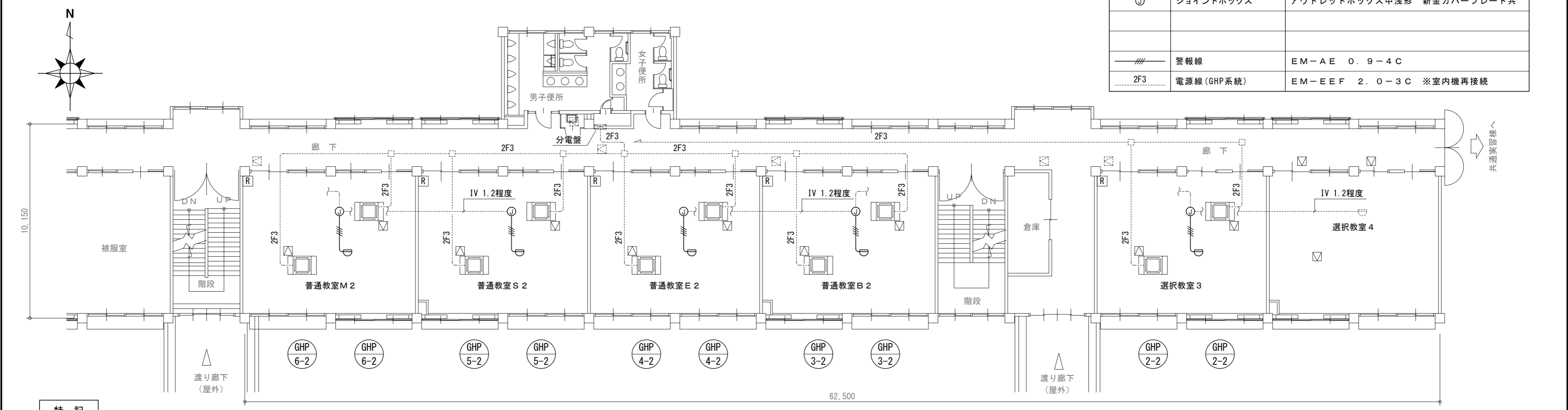


教室棟

3階平面図 S=1/150

凡例

記号	名称	備考
☐	熱感知器(移設)	露出型 差動式スポット型 2種 ※既設再取付
⊙	ジョイントボックス	アウトレットボックス中浅形 新金カバープレート共
---	警報線	EM-AE 0.9-4C
2F3	電源線(GHP系統)	EM-EEF 2.0-3C ※室内機再接続



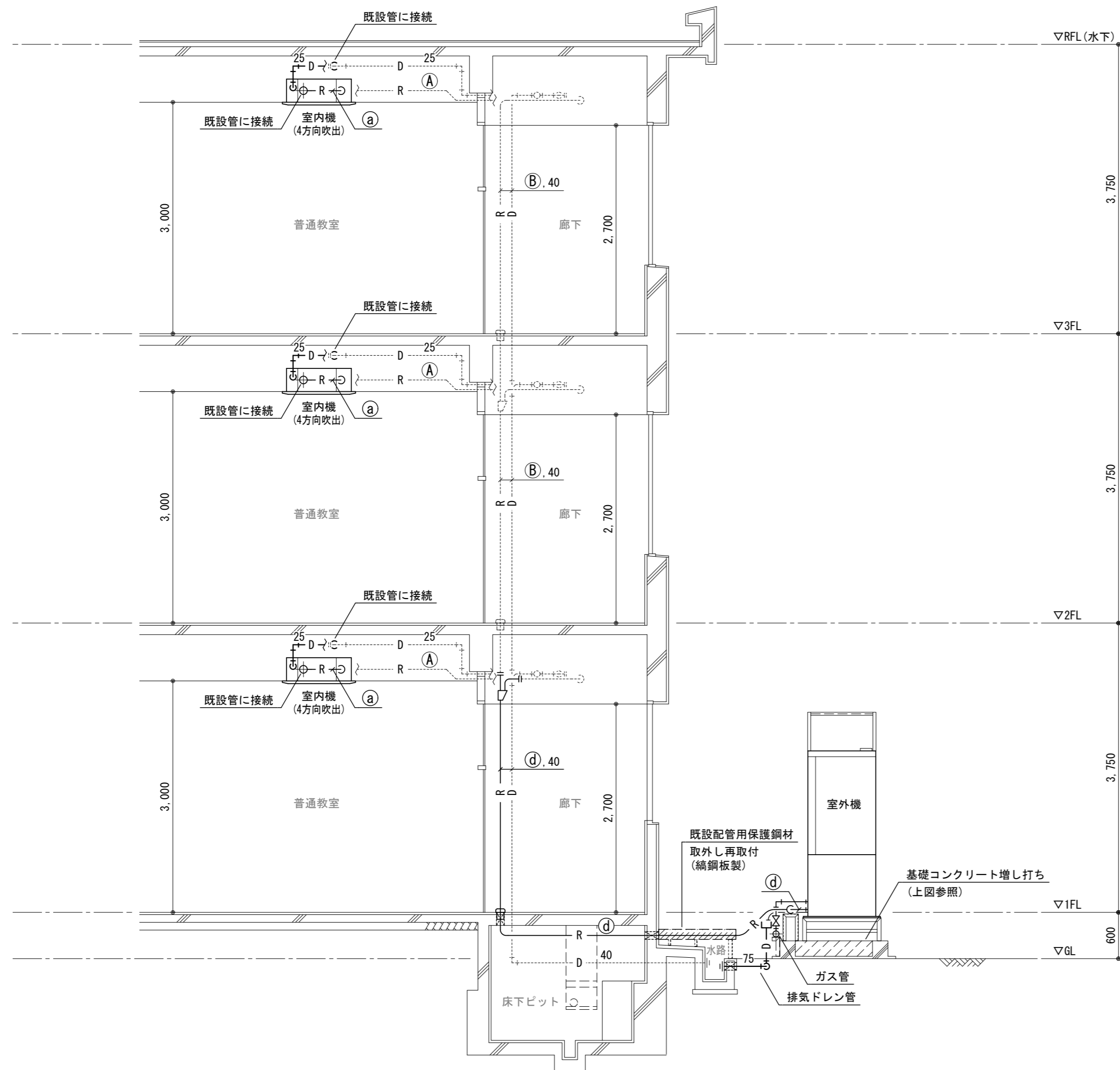
教室棟

2階平面図 S=1/150

特記

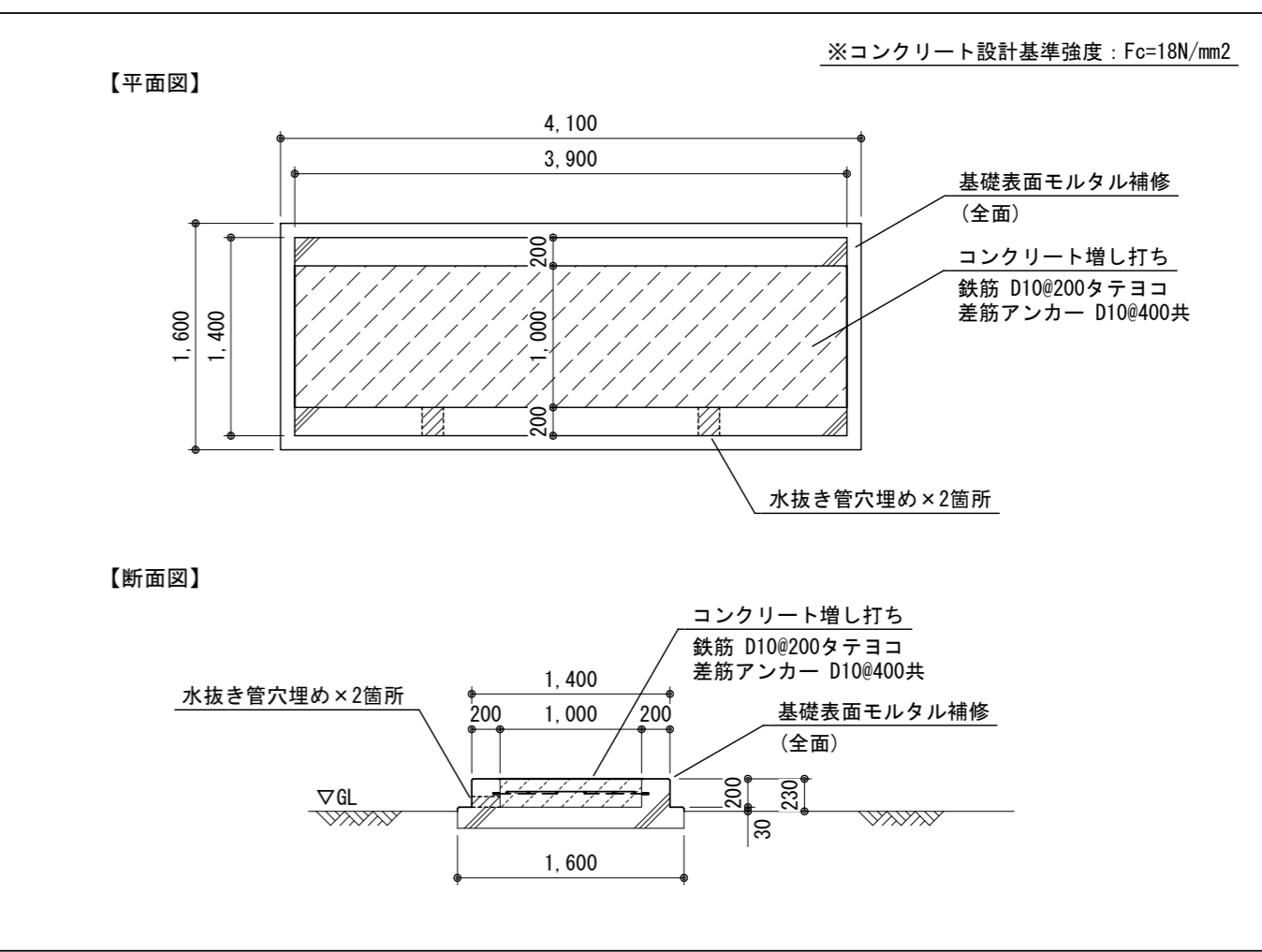
- 太線は更新機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。
- 感知器は、エアコン吹出口より1.5m以上の離隔距離を確保すること。



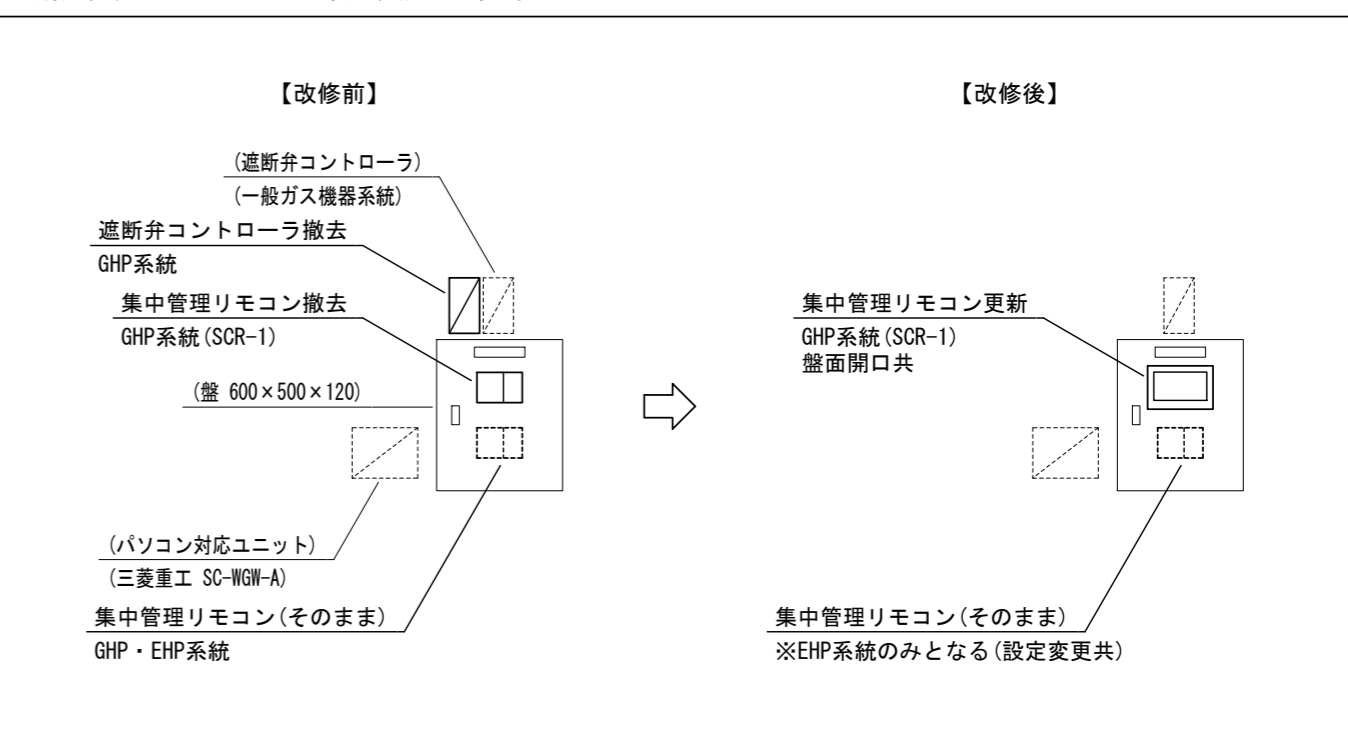


教室棟断面図 (参考) S-1/50

室外機既存コンクリート基礎改修図 (参考)



既設集中コントローラ盤部分改修図 (参考)



鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課

Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 越津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
		 		県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 教室棟断面図 (参考)、各所改修図 (参考)	2025.01 1/50 (A2) 1/70 (A3)	18 M 31

冷暖房機器表 (撤去)

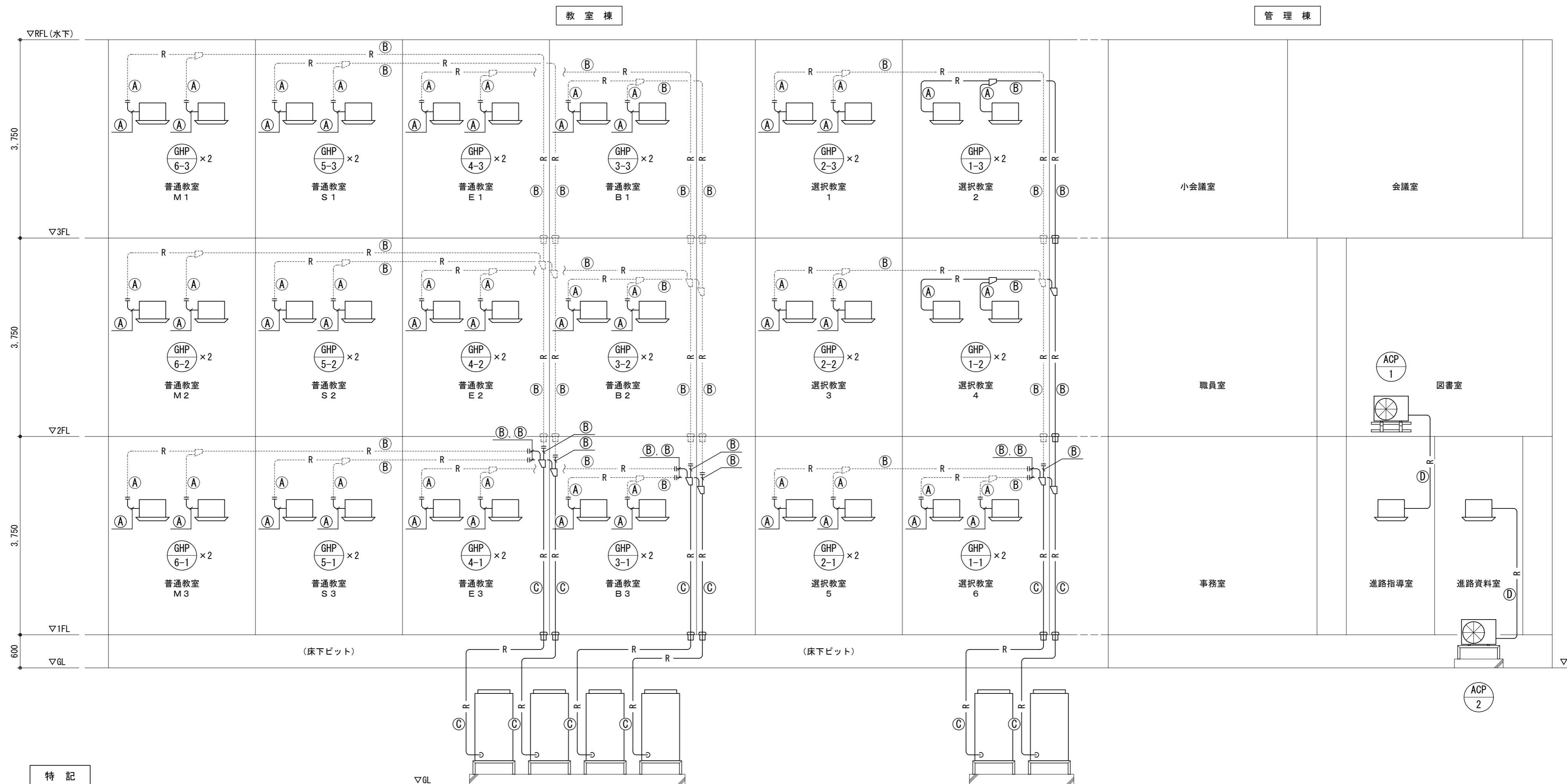
記号	名称	機器仕様	電気容量	台数	備考
ACP 1	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン	天井カセット形・4方向吹出 56型(ヒーター付)	電源:1φ200V	1	設置場所:1階 進路指導室 (管理棟) ※冷媒充填量:R22 2.4kg 品番:PA-J56UCHS(松下電器)
		定格冷房能力: 5.6 kW 定格冷房消費電力: 2.29 kW	圧縮機:1.50 kW		
		定格暖房能力: 7.6 kW 定格暖房消費電力: 3.56 kW	送風機(内):0.020 kW		
		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン、 銅製壁付架台(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共	送風機(外):0.030 kW		
ACP 2	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン	天井カセット形・4方向吹出 56型(ヒーター付)	電源:1φ200V	1	設置場所:1階 進路資料室 (管理棟) ※既存コンクリート基礎残置 ※冷媒充填量:R22 2.4kg 品番:PA-J56UCHS(松下電器)
		定格冷房能力: 5.6 kW 定格冷房消費電力: 2.29 kW	圧縮機:1.50 kW		
		定格暖房能力: 7.6 kW 定格暖房消費電力: 3.56 kW	送風機(内):0.020 kW		
		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン、 銅製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共	送風機(外):0.030 kW		
GHP 1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎残置 ※冷媒充填量:R410A 34.1kg 品番:GCP5601MT7(三菱重工)
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 1.12 kW	冷却水ポンプ:0.10 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 1.21 kW	送風機:0.36×2 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 41.5 kW 暖房 38.0 kW			
付属品:防雪ネット(溶融亜鉛めっき仕上)、 銅製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共					
GHP 1-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・2方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 選択教室6 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.145 kW	送風機:0.040 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.145 kW			
GHP 1-2		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン(×全3個)、 その他標準付属品共		2	設置場所:2階 選択教室4 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 1-3				2	設置場所:3階 選択教室2 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 2	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎残置 ※冷媒充填量:R410A 36.2kg 品番:GCP5601MT7(三菱重工)
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 1.12 kW	冷却水ポンプ:0.10 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 1.21 kW	送風機:0.36×2 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 41.5 kW 暖房 38.0 kW			
付属品:防雪ネット(溶融亜鉛めっき仕上)、 銅製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共					
GHP 2-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・2方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 選択教室5 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.145 kW	送風機:0.040 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.145 kW			
GHP 2-2		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン(×全3個)、 その他標準付属品共		2	設置場所:2階 選択教室3 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 2-3				2	設置場所:3階 選択教室1 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 3	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎残置 ※冷媒充填量:R410A 34.1kg 品番:GCP5601MT7(三菱重工)
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 1.12 kW	冷却水ポンプ:0.10 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 1.21 kW	送風機:0.36×2 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 41.5 kW 暖房 38.0 kW			
付属品:防雪ネット(溶融亜鉛めっき仕上)、 銅製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共					
GHP 3-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・2方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室B3 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.145 kW	送風機:0.040 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.145 kW			
GHP 3-2		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン(×全3個)、 その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室B2 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 3-3				2	設置場所:3階 普通教室B1 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)

記号	名称	機器仕様	電気容量(参考)	台数	備考
GHP 4	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎残置 ※冷媒充填量:R410A 36.0kg 品番:GCP5601MT7(三菱重工)
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 1.12 kW	冷却水ポンプ:0.10 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 1.21 kW	送風機:0.36×2 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 41.5 kW 暖房 38.0 kW			
付属品:防雪ネット(溶融亜鉛めっき仕上)、 銅製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共					
GHP 4-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・2方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室E3 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.145 kW	送風機:0.040 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.145 kW			
GHP 4-2		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン(×全3個)、 その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室E2 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 4-3				2	設置場所:3階 普通教室E1 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 5	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎残置 ※冷媒充填量:R410A 38.3kg 品番:GCP5601MT7(三菱重工)
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 1.12 kW	冷却水ポンプ:0.10 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 1.21 kW	送風機:0.36×2 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 41.5 kW 暖房 38.0 kW			
付属品:防雪ネット(溶融亜鉛めっき仕上)、 銅製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共					
GHP 5-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・2方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室S3 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.145 kW	送風機:0.040 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.145 kW			
GHP 5-2		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン(×全3個)、 その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室S2 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 5-3				2	設置場所:3階 普通教室S1 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 6	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン	屋外機 560型	電源:3φ200V	1	設置場所:屋外(教室棟) ※既存コンクリート基礎残置 ※冷媒充填量:R410A 41.5kg 品番:GCP5601MT7(三菱重工)
		定格冷房能力: 56.0 kW 定格冷房消費電力: 1.12 kW	冷却水ポンプ:0.10 kW		
		定格暖房能力: 63.0 kW 定格暖房消費電力: 1.21 kW	送風機:0.36×2 kW		
		燃料消費量(LPガス):冷房 41.5 kW 暖房 38.0 kW			
付属品:防雪ネット(溶融亜鉛めっき仕上)、 銅製平架台300H(溶融亜鉛めっき仕上)、その他標準付属品共					
GHP 6-1	ガス式ヒートポンプ マルチパッケージエアコン (室内機)	天井カセット形・2方向吹出 90型	電源:1φ200V	2	設置場所:1階 普通教室M3 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
		定格冷房能力: 9.0 kW 定格冷房消費電力: 0.145 kW	送風機:0.040 kW		
		定格暖房能力: 10.0 kW 定格暖房消費電力: 0.145 kW			
GHP 6-2		付属品:標準パネル、ドレンアップ、ワイヤードリモコン(×全3個)、 その他標準付属品共		2	設置場所:2階 普通教室M2 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
GHP 6-3				2	設置場所:3階 普通教室M1 (教室棟) 品番:GTPW901M7(三菱重工)
SCR 1	集中管理リモコン	ON/OFFコントローラー(最大16グループ制御) グループ単位運転/停止、一括運転/停止 付属品:その他標準付属品共	電源:1φ100V・200V	1	設置場所:1階 事務室 (管理棟) 品番:SC-SLA2A(三菱重工)
AC 1	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン ※参考(既設そのまま)	天吊り形 112型	電源:3φ200V	5	設置場所:3階 会議室、小会議室 (管理棟) 設置場所:2階 生徒会室 (実習棟) 品番:FDEVP112H2(三菱重工)
		定格冷房能力: 10.0 kW 定格冷房消費電力: 2.48 kW	圧縮機:1.90 kW		
		定格暖房能力: 11.2 kW 定格暖房消費電力: 2.69 kW	送風機(内):0.040×2 kW		
		付属品:ワイヤードリモコン、ドレンアップ、その他標準付属品共	送風機(外):0.065×2 kW		
AC 2	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン ※参考(既設そのまま)	天吊り形 80型	電源:3φ200V	2	設置場所:3階 会議室 (管理棟) 品番:FDEVP802H2(三菱重工)
		定格冷房能力: 7.1 kW 定格冷房消費電力: 2.06 kW	圧縮機:1.80 kW		
		定格暖房能力: 8.0 kW 定格暖房消費電力: 2.03 kW	送風機(内):0.020×2 kW		
		付属品:ワイヤードリモコン、ドレンアップ、その他標準付属品共	送風機(外):0.065 kW		

※冷媒充填量は参考値とする。



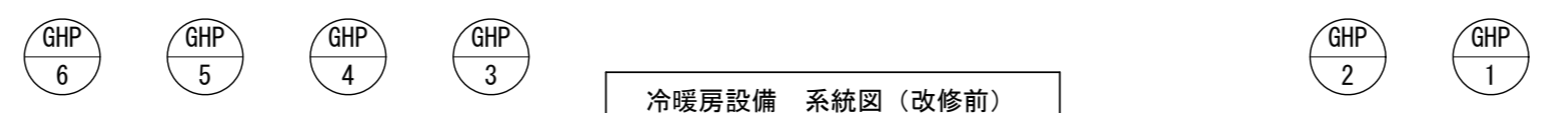
記号	液管	ガス管
(A)	9.52φ	15.88φ
(B)	12.7φ	19.05φ
(C)	12.7φ	28.58φ
(D)	6.35φ	15.88φ

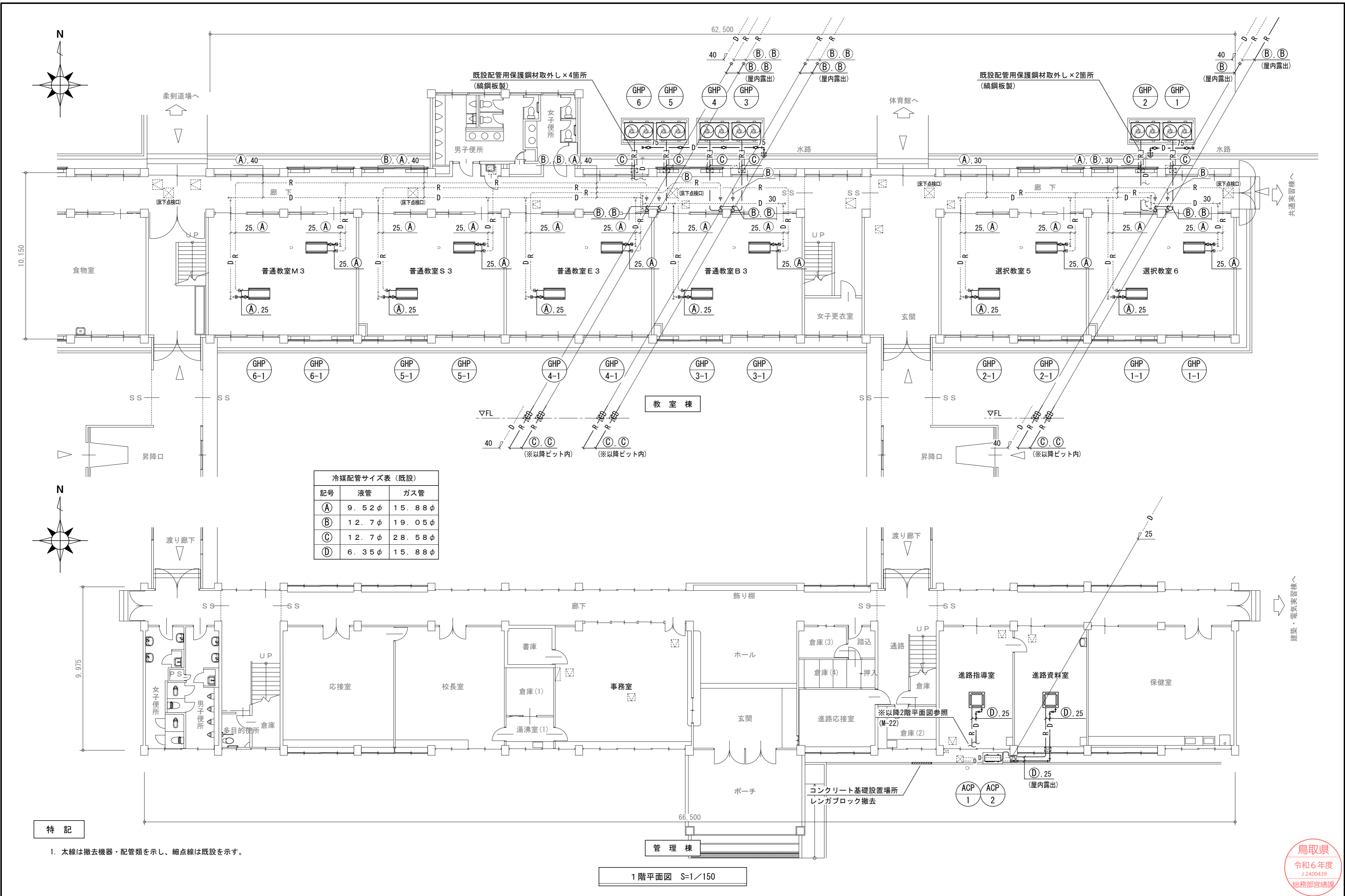


特記

1. 太線は撤去機器・配管類を示し、細線は既設を示す。

冷暖房設備 系統図 (改修前)



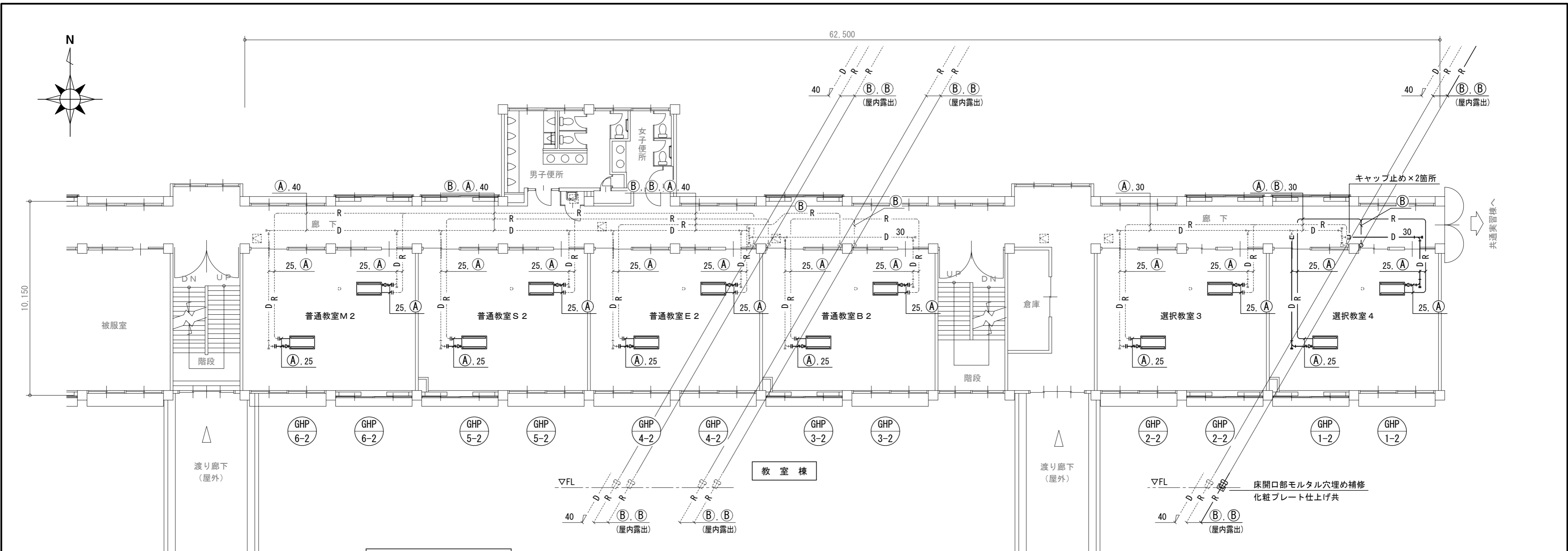


特記
1. 太線は撤去機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

1階平面図 S-1/150

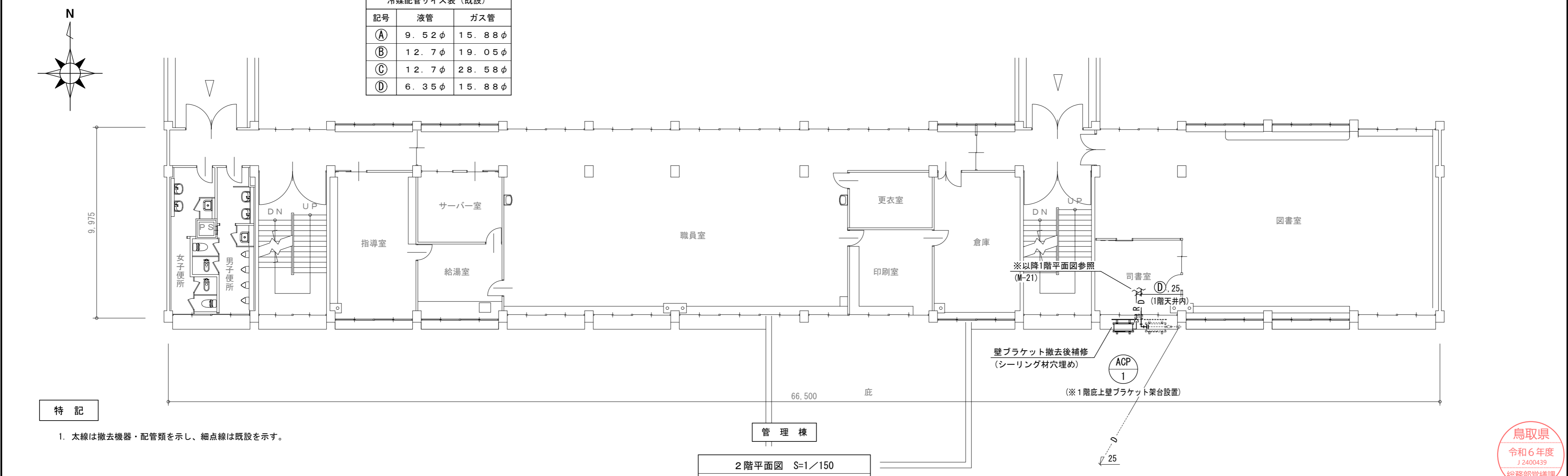


Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 冷暖房設備 1階平面図 (改修前)	2025.01 1/150 (A2) 1/211 (A3)	21 M 31



冷媒配管サイズ表 (既設)

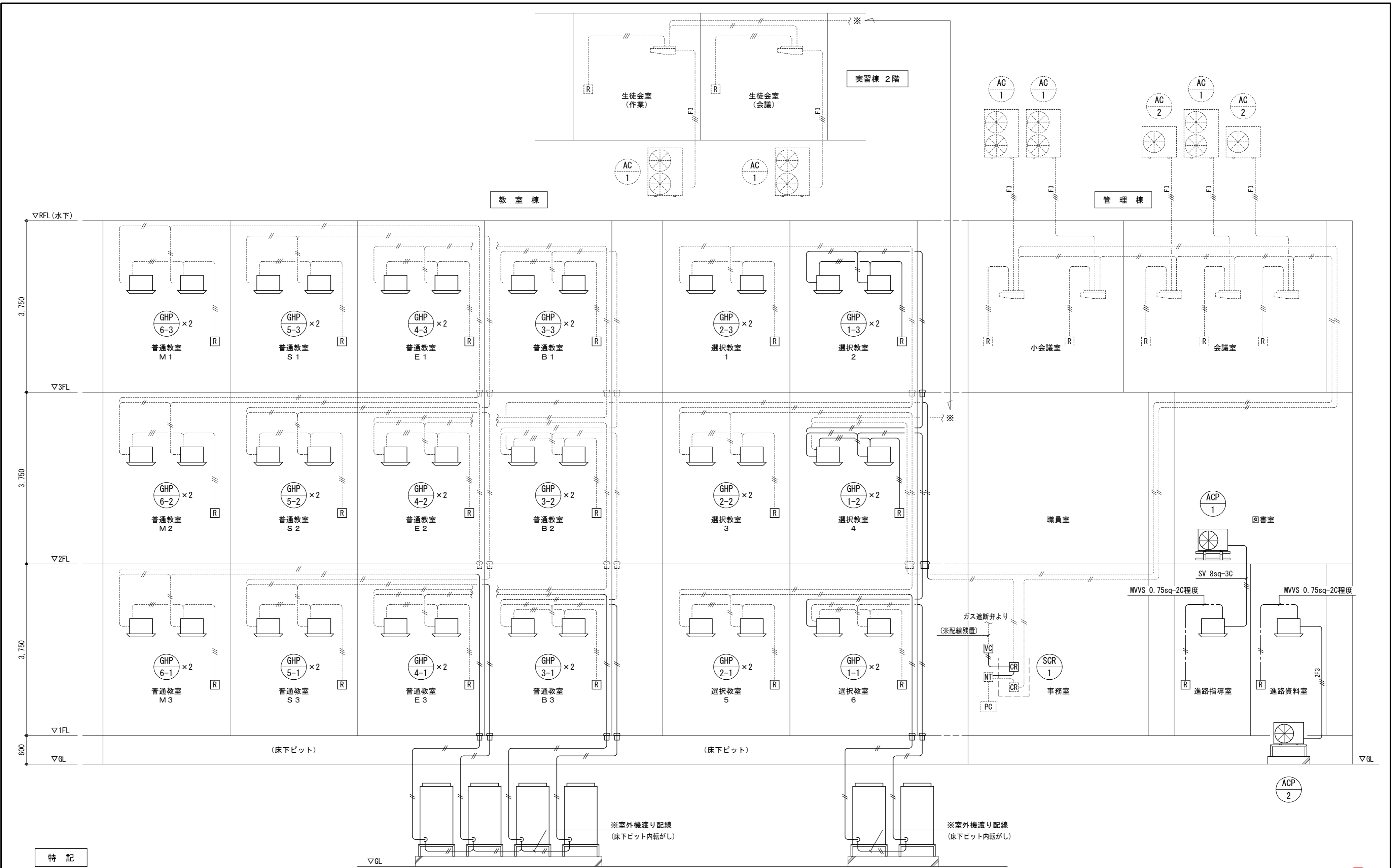
記号	液管	ガス管
(A)	9. 52 φ	15. 88 φ
(B)	12. 7 φ	19. 05 φ
(C)	12. 7 φ	28. 58 φ
(D)	6. 35 φ	15. 88 φ



特記
1. 太線は撤去機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

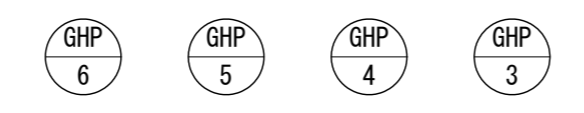
2階平面図 S=1/150



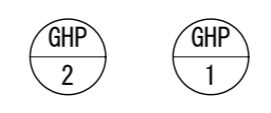


特記

1. 太線は撤去機器・配線類を示し、細線は既設を示す。

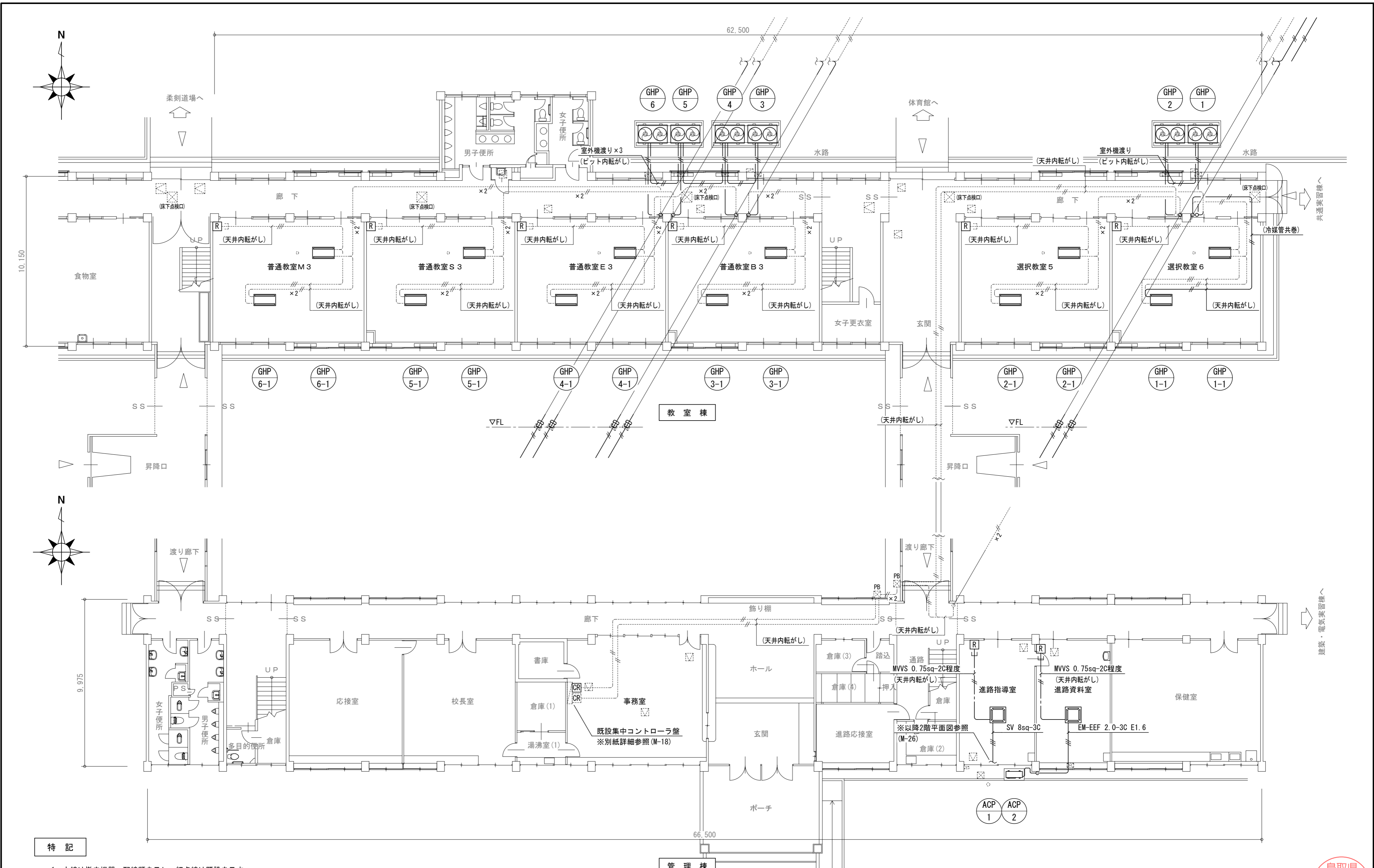


自動制御設備 系統図 (改修前)



Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 自動制御設備 系統図 (改修前)	2025.01 - (A2) - (A3)	24 M 31

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課

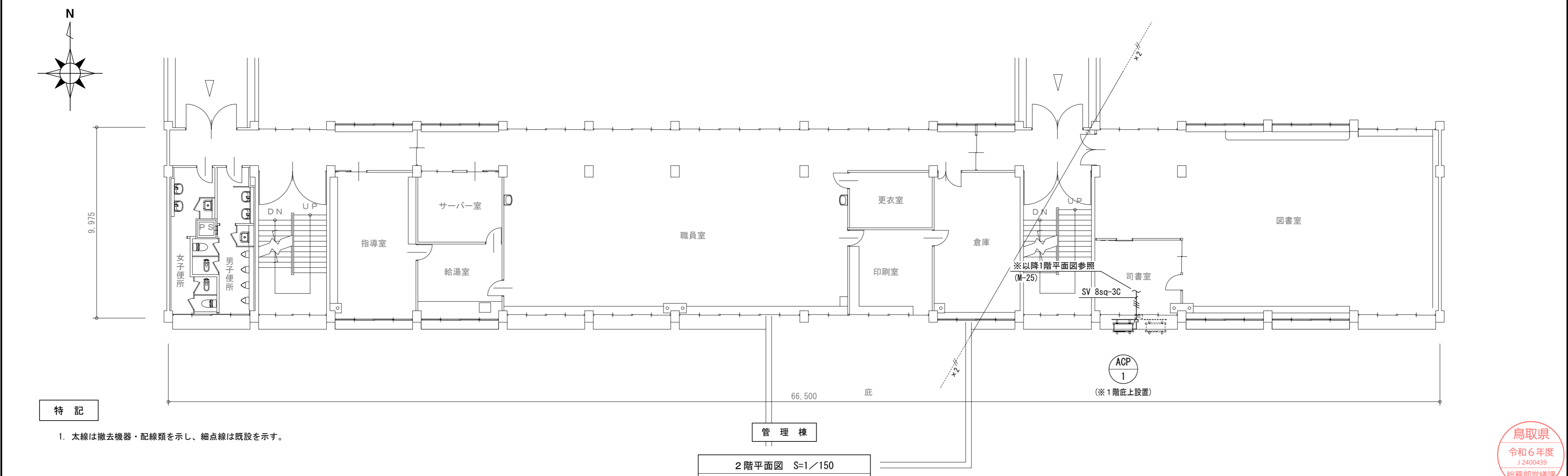
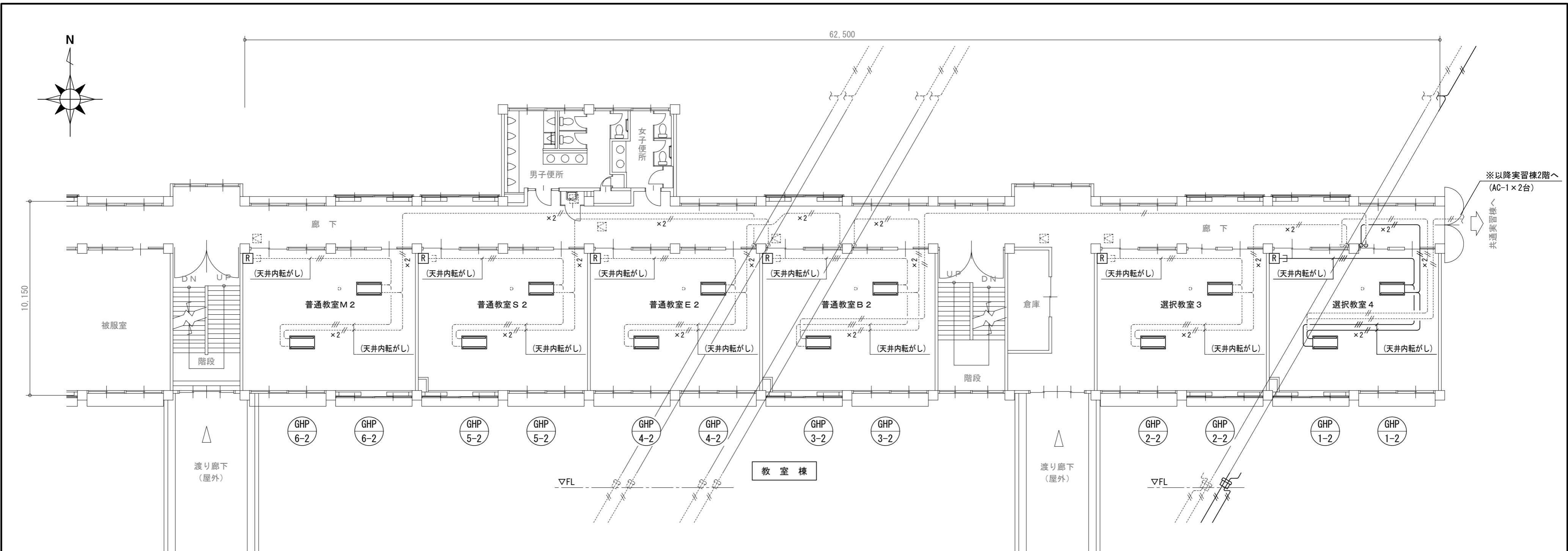


特記
1. 太線は撤去機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。

1階平面図 S-1/150

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課


Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所 一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK 	DRAW 	TITLE 県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 NAME 自動制御設備 1階平面図 (改修前)	DATE 2025.01 SCALE 1/150 (A2) 1/211 (A3)	NO. M 25 31
---	-----------	----------	---	--	-------------------

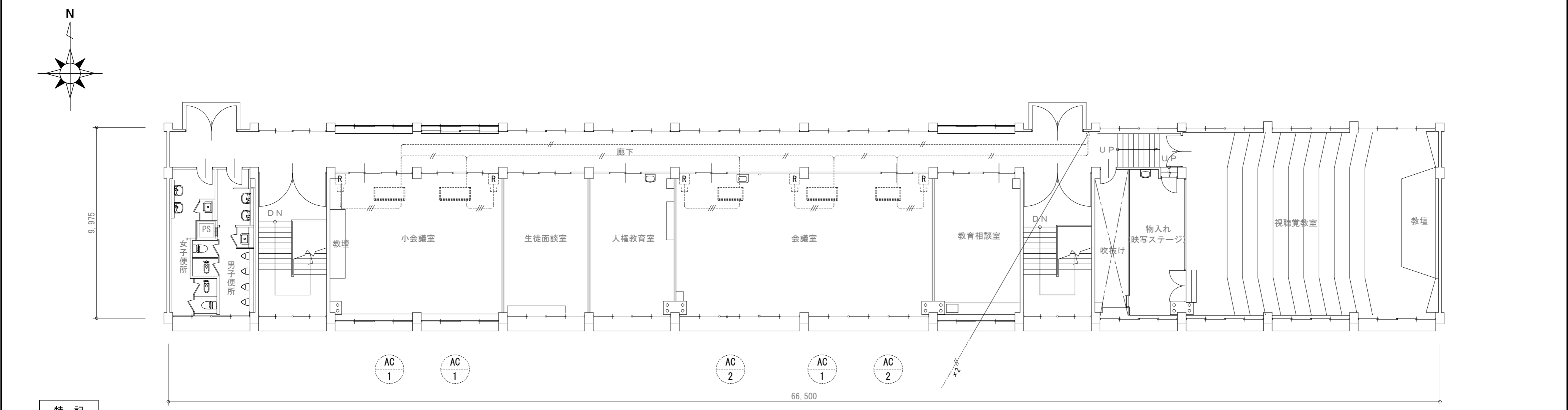
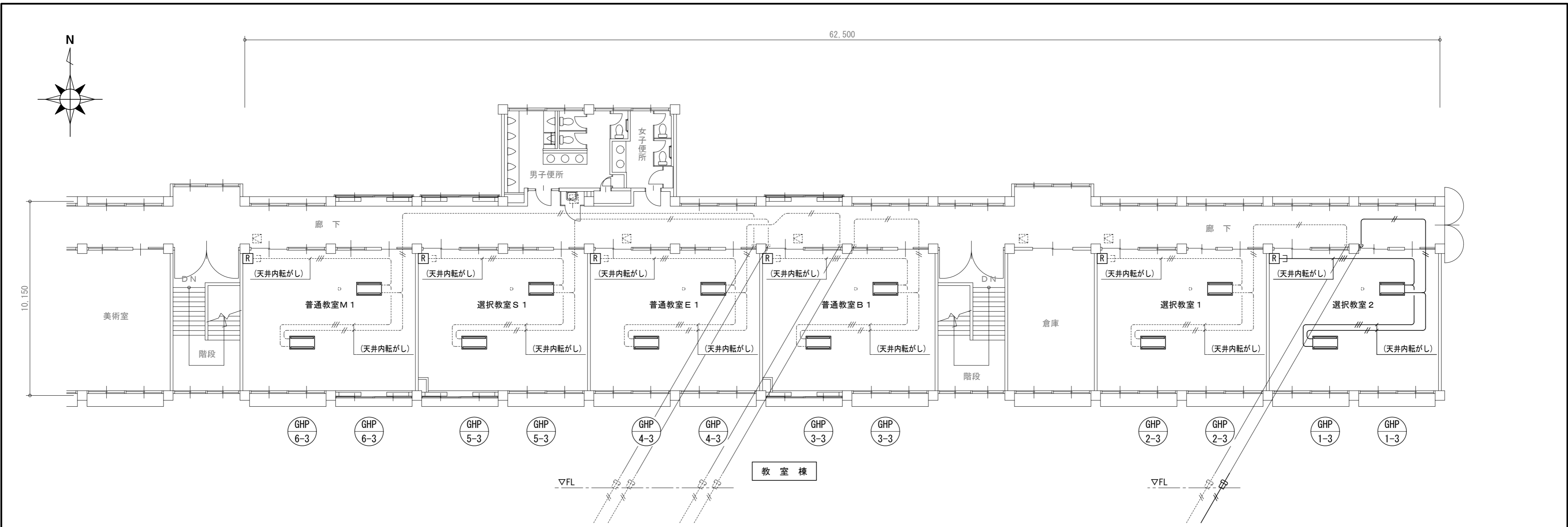


特記
1. 太線は撤去機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。

2階平面図 S-1/150



Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
		  	県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 自動制御設備 2階平面図 (改修前)	2025.01 1/150 (A2) 1/211 (A3)	26 M 31	

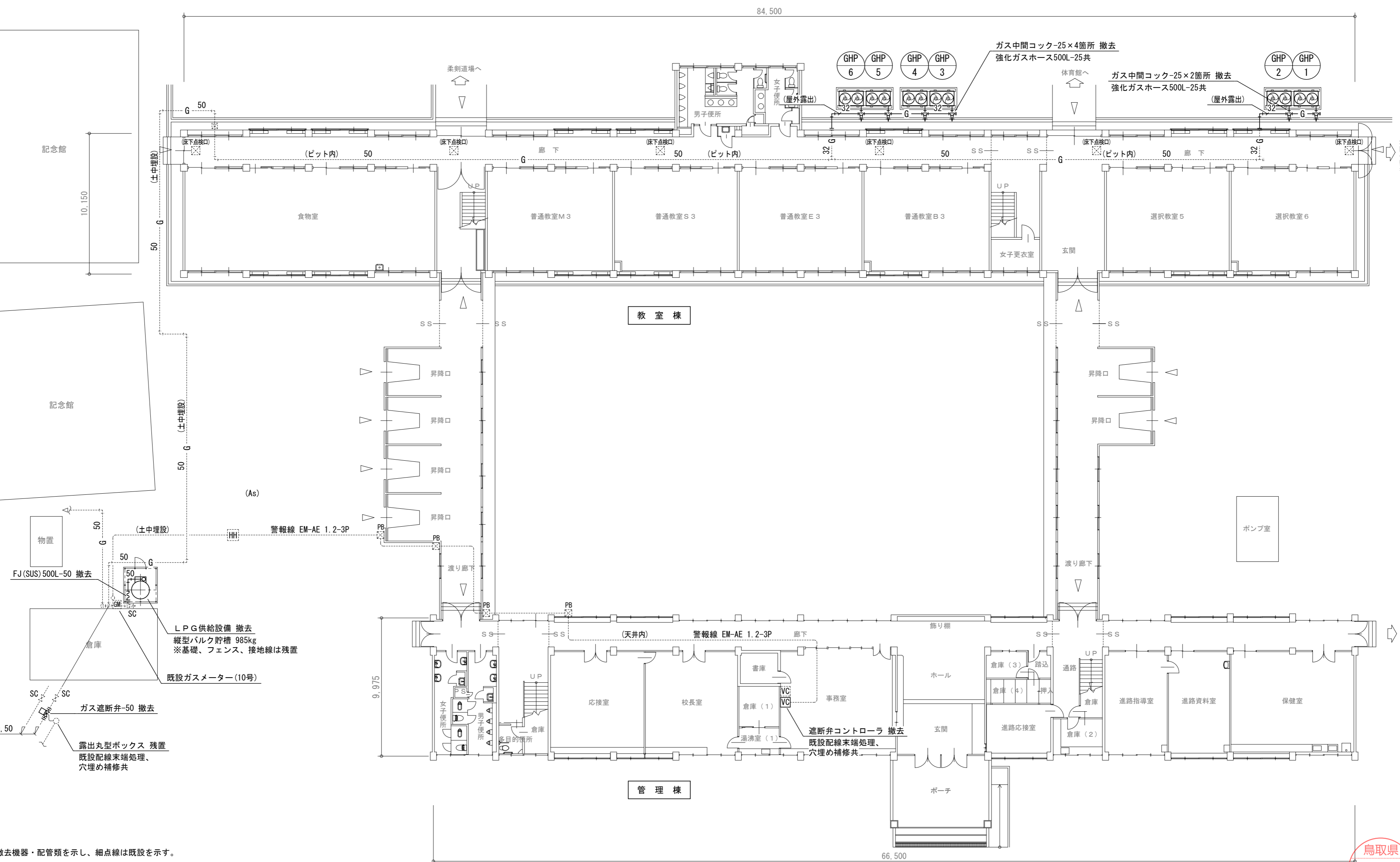
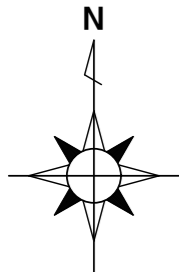


特記
1. 太線は撤去機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。

3階平面図 S-1/150



Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 船津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 自動制御設備 3階平面図 (改修前)	2025.01 1/150 (A2) 1/211 (A3)	



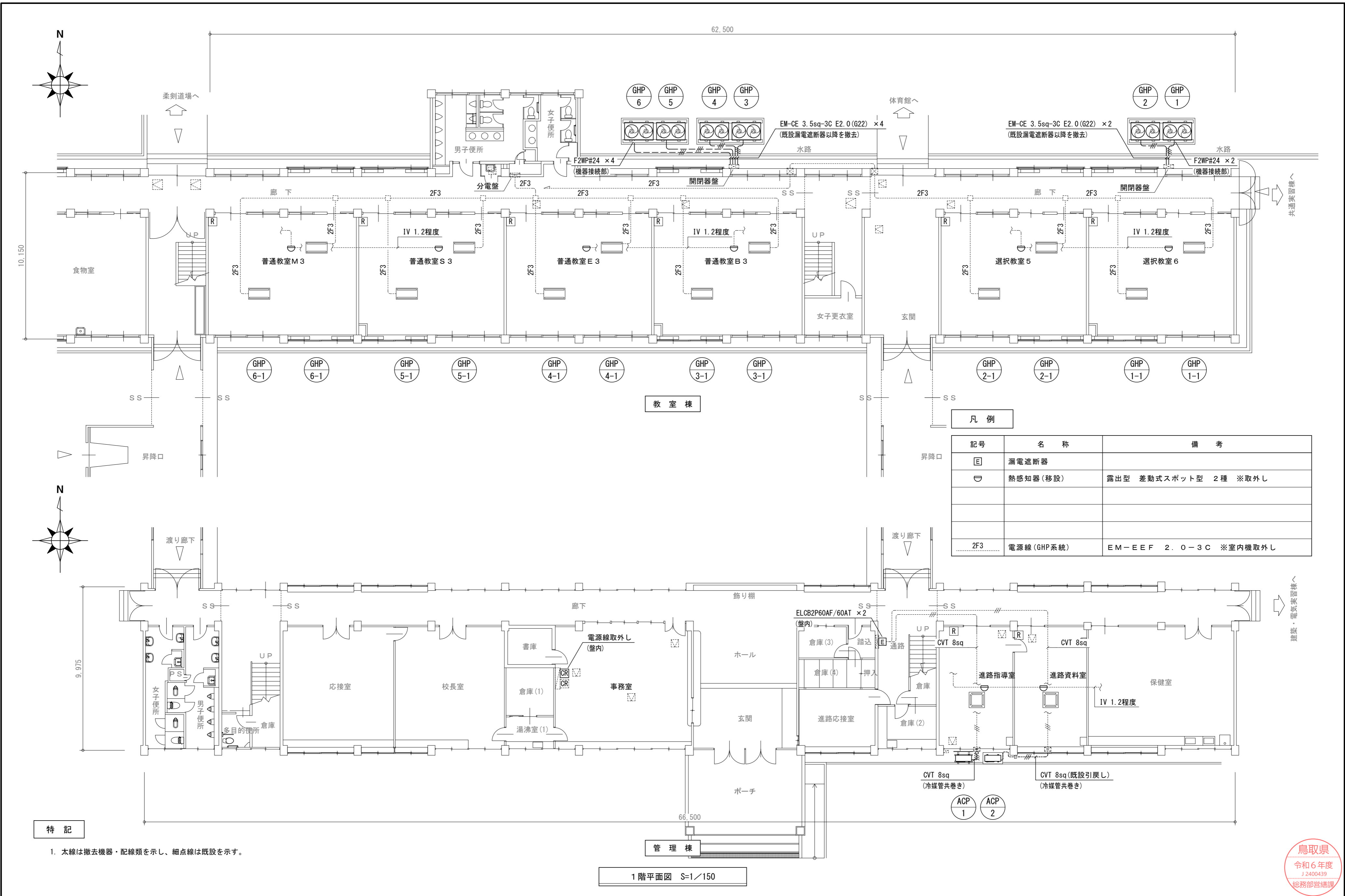
特記

1. 太線は撤去機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。
2. 既設ガス遮断弁及び遮断弁コントローラ撤去に伴い、不要となる警報線等は残置とする。
3. 既設バルク貯槽の撤去・処分に係る作業は「バルク貯槽くず化指針」に基づき適切に行うこと。

1階平面図 S=1/200

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課

Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 管理建築士 森本博美 建築設備士 池津貴文	鳥取県知事登録 一級建築士登録 建築設備士登録 第04-1348号 第103826号 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
					県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事	2025.01	M 28
					NAME	SCALE	
					ガス設備 1階平面図(改修前)	1/200 (A2) 1/282 (A3)	31



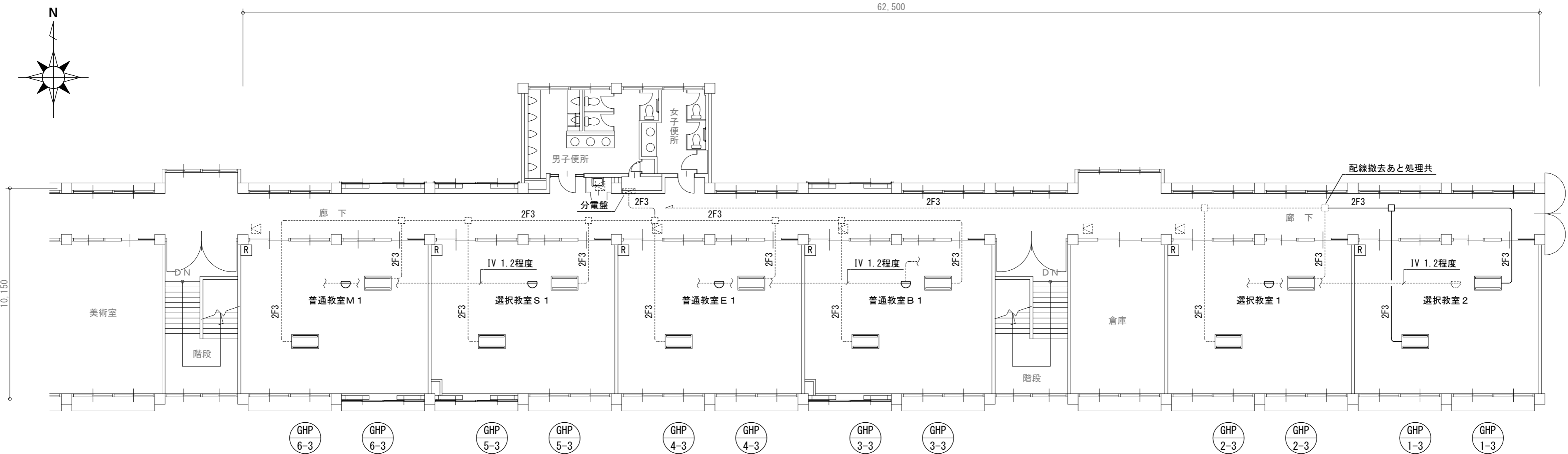
凡例

記号	名称	備考
⊞	漏電遮断器	
☺	熱感知器(移設)	露出型 差動式スポット型 2種 ※取外し
2F3	電源線(GHP系統)	EM-E E F 2. 0 - 3 C ※室内機取外し

特記
1. 太線は撤去機器・配線類を示し、細点線は既設を示す。

1階平面図 S-1/150

鳥取県
令和6年度
J2400439
総務部管轄課

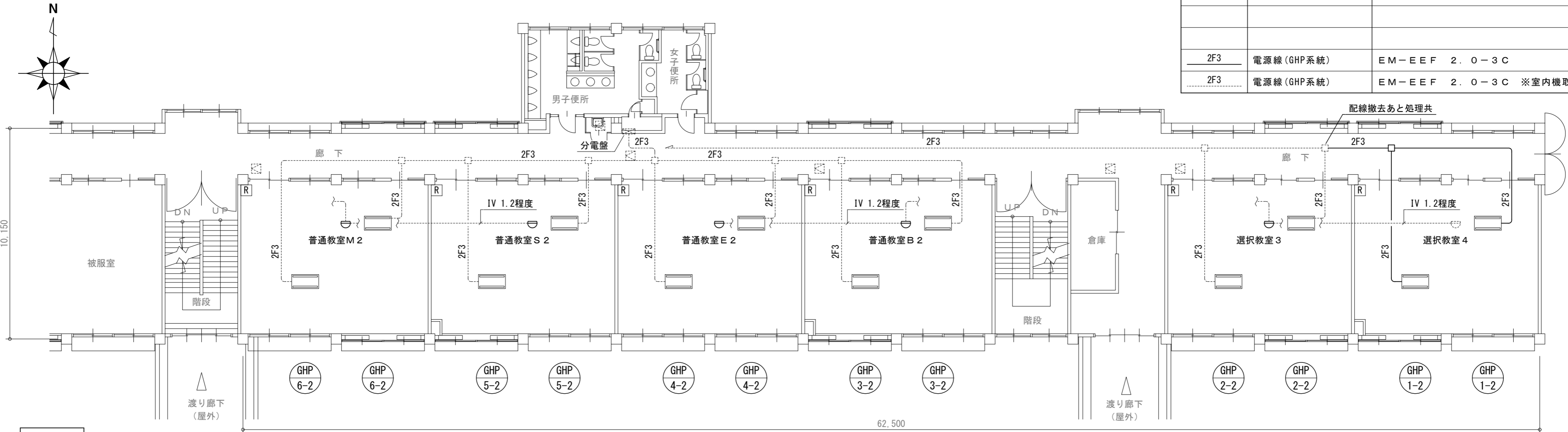


教室棟

3階平面図 S=1/150

凡例

記号	名称	備考
☐	熱感知器(移設)	露出型 差動式スポット型 2種 ※取外し
□	ジョイントボックス	アウトレットボックス中浅形
2F3	電源線(GHP系統)	EM-E E F 2. 0-3 C
2F3	電源線(GHP系統)	EM-E E F 2. 0-3 C ※室内機取外し



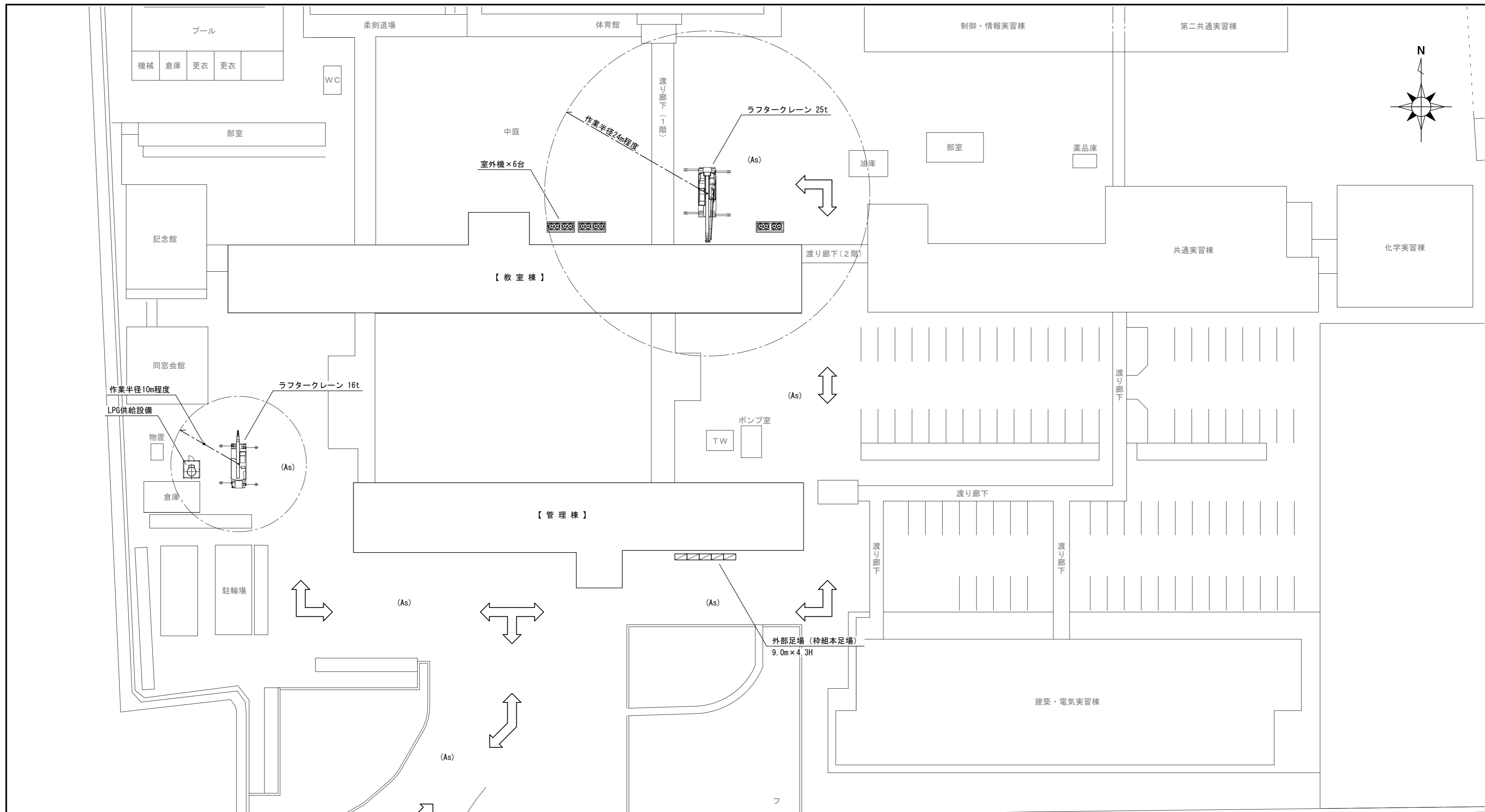
教室棟

2階平面図 S=1/150

特記

1. 太線は撤去機器・配線類を示し、細線は既設を示す。





凡例

↔ : クレーン・運搬車両等進入経路を示す。

特記

- クレーン作業時はカラーコーン等にて、作業範囲の明確化・立入り禁止措置を行う。また、安全誘導員を適切に配置すること。
- クレーン設置に伴う、アウトリガフロート部には敷き鉄板等にて養生を行うこと。
- クレーンの大きさ・配置は参考とする。

配置図 S=1/400



Living Environment Technology 株式会社 LET 一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第04-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 船津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県立鳥取工業高等学校教室棟ほか冷暖房設備更新工事 仮設計画図(案)	2025.01 1/400 (A2) 1/563 (A3)	31 M 31